

新	旧
(略)	
<p>(43 ページ) 食品機能科学</p> <p><u>講義内容に関するレポート (70%) とプレゼンテーション及び授業中の討論内容等 (30%) を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</u></p>	<p>(42 ページ) 食品機能科学</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の積極性 (発言回数, 質問回数, など) を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(44 ページ) メカニカル・エンジニアリング</p> <p>機械工学の基礎的概念の理解度を判定する。レポート 80%、<u>授業中の討議内容等 20%</u>を併せて評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(43 ページ) メカニカル・エンジニアリング</p> <p>機械工学の基礎的概念の理解度を判定する。レポート 80%、<u>出欠を含む学習態度 20%</u>を併せて評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(50 ページ) 実践フィールドワーク/Practical Fieldwork</p> <p>フィールドワークを中心とした授業であるため、屋外実験・教育実践やそれらに関わる調査の実施計画 (30%)、<u>実践フィールドワークに関する最終成果のレポート内容 (40%)</u>、<u>実践フィールドワークに関する最終報告会での発表内容 (30%)</u>を総合して評価する。</p>	<p>(49 ページ) 実践フィールドワーク/Practical Fieldwork</p> <p>フィールドワークを中心とした授業であるため、屋外実験・教育実践やそれらに関わる調査の実施計画や最終成果のレポート内容、<u>最終報告会での発表内容などを総合して</u>評価する。</p>
<p>(56 ページ) Global Management</p> <p><u>Final grades will be calculated according to the following criteria: final report on Global Management (50%), presentation (30%) and contribution to the class-wide discussion (20%) . Those who are above 60 % will pass this course (Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%).</u></p>	<p>(53 ページ) Global Management</p> <p><u>Class attendance minimum requirement: 2/3. Active participation 30%, Presentation 40%, Final Report 30%. Evaluation: Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%.</u></p>
<p>(58 ページ) Globalization and Society</p> <p><u>Final grades will be calculated according to the following criteria: final report on Globalization and Society (50%), presentation (30%) and contribution to the class-wide discussion (20%) . Those who are above 60 % will pass this course (Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%).</u></p>	<p>(55 ページ) Globalization and Society</p> <p><u>Class attendance minimum requirement: 2/3. Debate Presentation and Response 40% & Final Report (English) 60%. Evaluation: Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%.</u></p>

新	旧
<p>(61 ページ)</p> <p>臨地研究／On-site Studies</p> <p>調査報告書(50%)と報告会でのプレゼンテーション(30%)、及び授業での諸活動と調査の実践状況(20%)も加味し、60点以上を合格(90点以上：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可)とする。</p>	<p>(58 ページ)</p> <p>臨地研究／On-site Studies</p> <p>調査報告書および報告会でのプレゼンテーションにより評価する。授業への参加態度と調査の実践状況も加味する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、60点未満を不可とする。</p>
<p>(62 ページ)</p> <p>地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す</p> <p>各演習における発表・討議内容等(50%)、最終報告会での発表(50%)などを総合して評価し、60点以上を合格(90点以上：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可)とする。</p> <p>各演習における諸活動(50%：質問回数・発表内容など)、最終報告会での発表(50%)などを総合して評価し、(略)</p>	<p>(59、85 ページ)</p> <p>地域社会デザイン学分析展開論：実践を問い、現場に還す</p> <p>現場における演習を中心とした授業であるため、試験は行わず、各演習における報告内容、最終報告会での発表内容などを総合して成績を評価する。(略)</p>
<p>(63 ページ)</p> <p>地域デザイン工学プロジェクト</p> <p>課題に対する取り組みの姿勢(50%)と成果物の出来映え(50%)に関して総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可)とする。</p>	<p>(103、149、172 ページ)</p> <p>地域デザイン工学プロジェクト</p> <p>課題に対する取り組み内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀、80%以上90%未満：優、70%以上80%未満：良、60%以上70%未満：可)とする。実修時間30時間以上とする。</p>
<p>(65 ページ)</p> <p>地域デザイン工学インターンシップ</p> <p>報告会での評価にもとづき、60点以上を合格(90点以上：秀、80-89点：優、70-79点：良、60-69点：可)とする。</p>	<p>(104、150、173 ページ)</p> <p>地域デザイン工学インターンシップ</p> <p>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60パーセント以上を合格(90%以上：秀、80%以上90%未満：優、70%以上80%未満：良、60%以上70%未満：可)とする。</p>
<p>(66 ページ)</p> <p>Communication Skills for Engineers</p> <p>提案書の内容(70%)と発表会での発表内容(30%)として評価(発表会の相互評価を含む)し、(略)</p>	<p>(105、151、174 ページ)</p> <p>Communication Skills for Engineers</p> <p>提案書と発表会により評価(相互評価を含む)し、(略)</p>
<p>(68 ページ)</p> <p>共生社会論／Lecture on 'Society for all'</p> <p>授業ごとの振り返りレポート(40%)、共生社会および特定の領域に関して作成したレポート(60%)で評価し、(略)</p>	<p>(238 ページ)</p> <p>共生社会論／Lecture on 'Society for all'</p> <p>授業への参加度合い(20%)共生社会および特定の領域に関して作成したレポート(80%)で評価し、(略)</p>

新	旧
<p>(69 ページ)</p> <p>地域人間発達支援の実際と課題</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(321 ページ)</p> <p>地域人間発達支援の実際と課題</p> <p>最終レポート(30%)及び各回授業の課題への取り組み(50%), 討論への参加態度(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(73 ページ)</p> <p>住環境・まちづくり論</p> <p>住環境・まちづくりに関するレポート(40%), プレゼンテーション(30%), ディスカッションの内容(30%)の結果を総合して評価します。</p> <p>(略)</p>	<p>(71 ページ)</p> <p>住環境・まちづくり論</p> <p>出席(30%), レポート(30%), プレゼンテーション(20%), ディスカッションへの貢献度(20%)の結果を総合して評価します。</p> <p>(略)</p>
<p>(74 ページ)</p> <p>自然共生デザイン論</p> <p>自然共生デザインに関する期末試験(50点)、自然共生デザインに関する課題レポート(50点)で成績を評価する。</p> <p>(略)</p>	<p>(77 ページ)</p> <p>自然共生デザイン論</p> <p>期末試験(50点)、課題レポート(50点)で成績を評価する。</p> <p>(略)</p>
<p>(75 ページ)</p> <p>福祉経営論</p> <p>福祉経営に関するレポート(50%)、授業中のディスカッション内容(50%)。</p> <p>(略)</p>	<p>(67 ページ)</p> <p>福祉経営論</p> <p>レポート(50%)、授業への参加状況(50%)。</p> <p>(略)</p>
<p>(76 ページ)</p> <p>政策分析とガバナンス</p> <p>課題レポートの点数(70%)や授業中の討議発表・内容等(30%)によって評価する。</p> <p>(略)</p>	<p>(61 ページ)</p> <p>政策分析とガバナンス</p> <p>授業参加度・授業内報告(40%)、最終レポート(60%)によって評価する。</p> <p>(略)</p>
<p>(79 ページ)</p> <p>福祉社会話分析</p> <p>福祉社会話分析に関する小課題:30%, 授業中のディスカッション内容:30%, 福祉社会話分析に関する学期末課題を40%として評価する。</p> <p>(略)</p>	<p>(69 ページ)</p> <p>福祉社会話分析</p> <p>授業外課題:20%、授業内課題:20%、授業への参加態度:20%、学期末課題を40%として評価する。</p> <p>(略)</p>
<p>(80 ページ)</p> <p>地域スポーツ行政論</p> <p>スポーツ行政に関する小課題(20%)、スポーツ行政に関するグループ課題発表(50%)、スポーツ行政に関するディスカッション(30%)の総合点を判断基準にして成績を評価する。</p> <p>(略)</p>	<p>(64 ページ)</p> <p>地域スポーツ行政論</p> <p>出席状況50%、提出物20%、授業中の活動30%の総合点を判断基準にして成績を評価する。</p> <p>(略)</p>

新	旧
<p>(81 ページ)</p> <p>地域社会教育論</p> <p>平常点 50% (ディスカッションにおける内容及び討議内容など)、レポート 50% (講義やテーマについての興味関心の掘り下げなど)。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(66 ページ)</p> <p>地域社会教育論</p> <p>平常点 50% (ディスカッションにおける内容と積極性など)、レポート 50% (講義やテーマについての興味関心の掘り下げなど)。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(82 ページ)</p> <p>地域住民の意識・行動の調査法</p> <p>発表内容 50%, ディスカッション内容 50%。 (略)</p>	<p>(68 ページ)</p> <p>地域住民の意識・行動の調査法</p> <p>発表内容 50%, <u>受講態度 (ディスカッションへの貢献度など) 50%</u>。 (略)</p>
<p>(84 ページ)</p> <p>地域活動の心理学</p> <p><u>授業中のグループ発表内容 (50%) と地域活動の心理学に関するレポート (50%)</u>。 (略)</p>	<p>(70 ページ)</p> <p>地域活動の心理学</p> <p>発表 (50%) とレポート (50%)。 (略)</p>
<p>(85 ページ)</p> <p>デザインと地域</p> <p><u>デザインと地域に関する授業内での発表およびディスカッション内容 (50%)、成果品とプレゼンテーション (50%) で評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>	<p>(72 ページ)</p> <p>デザインと地域</p> <p><u>出席 30, 授業での取り組み 30, プレゼンテーションおよび成果品 40。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>
<p>(86 ページ)</p> <p>合奏による参加型デザイン</p> <p>演奏技術の向上及び到達度 (60%)、企画力、マネジメント力 (40%) を総合して評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(73 ページ)</p> <p>合奏による参加型デザイン</p> <p><u>授業貢献度 (20%)、演奏技術の向上及び到達度 (50%)、企画力、マネジメント力 (30%) を総合して評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>
<p>(87 ページ)</p> <p>地域食生活論</p> <p>毎回のコメントシート (40%), <u>グループワークにおける討議・提案内容 (60%)</u> により総合的に評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(75 ページ)</p> <p>地域食生活論</p> <p>毎回のコメントシート (40%), <u>グループワークにおける取り組みと提案内容 (60%)</u> により総合的に評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(88 ページ)</p> <p>農業・農村の組織マネジメント</p> <p>農業・農村の組織マネジメントに関するレポート 100%。 (略)</p>	<p>(76 ページ)</p> <p>農業・農村の組織マネジメント</p> <p>レポート 100%。 (略)</p>

新	旧
<p>(89 ページ)</p> <p>観光地理学研究</p> <p><u>観光地理学に関する発表内容 50%，観光地理学に関するレポート 50%。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(78 ページ)</p> <p>観光地理学研究</p> <p>発表内容 50%，レポート 50%。</p> <p>(略)</p>
<p>(90 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学特別演習</p> <p><u>研究計画の発表 (40%)，文献検討の発表(40%)，ディスカッションへの内容(20%)を総合して行なう。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(79 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学特別演習</p> <p><u>毎回の課題，授業態度，報告，発表などの評価をもとに，総合的に行なう。</u></p> <p>(略)</p>
<p>(92 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による，<u>研究計画(40%)，研究に関するディスカッション内容(40%)，報告会における評価(20%)を加味し，総合して行なう。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(82 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による<u>各個人の在籍期間中の評価とともに</u>，報告会における評価を加味し，総合的に行なう。</p> <p>(略)</p>
<p>(94 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学実践プロジェクト</p> <p><u>プロジェクトと関連して授業内で課す課題内容 (30%)，プロジェクトに関するディスカッション内容(30%)，プロジェクト成果の発表 (40%) の評価を総合して行なう。</u></p> <p>(略)</p>	<p>(83 ページ)</p> <p>コミュニティデザイン学実践プロジェクト</p> <p><u>毎回の課題，プロジェクトに取り組む態度，報告，発表などの評価とともに，総合的に行なう。</u></p> <p>(略)</p>
<p>(97 ページ)</p> <p>農政学</p> <p><u>授業中の発表 (80%) 及び討議内容 (20%) を勘案して評価し、</u></p> <p>(略)</p>	<p>(86 ページ)</p> <p>農政学</p> <p>授業における<u>討論と発表を勘案して評価し、</u></p> <p>(略)</p>
<p>(101 ページ)</p> <p>アグリビジネス論</p> <p><u>講義において、アグリビジネスの基礎理論に関する試験を実施し、</u></p> <p>(略)</p>	<p>(90 ページ)</p> <p>アグリビジネス論</p> <p>講義への出席と貢献度によって総合的に判断する。</p> <p>(略)</p>
<p>(102 ページ)</p> <p>農村地理学</p> <p>ディスカッションでの<u>発言内容 (70%) およびフィールドワークでの実績報告等 (30%)</u> で評価し、</p> <p>(略)</p>	<p>(91 ページ)</p> <p>農村地理学</p> <p>ディスカッションでの<u>発現およびフィールドワークへの参加態度</u>で評価し、</p> <p>(略)</p>
<p>(104 ページ)</p> <p>ソーシャルビジネス論</p>	<p>(93 ページ)</p> <p>ソーシャルビジネス論</p>

新	旧
授業の中でのプレゼンテーション(50%)とレポート(50%)による評価とする。 (略)	授業の中でのプレゼンテーションとレポートによる評価とする。 (略)
(107 ページ) フードシステム学 ディスカッションの発言内容等(40%)と発表内容(60%)で評価し、 (略)	(96 ページ) フードシステム学 ディスカッションへの参加態度と発言内容で評価し、 (略)
(108 ページ) 農業・農村経済学特別演習 研究計画の発表(40%)、文献検討の発表(40%)、ディスカッションの内容(20%)を総合して行なう。 (略)	(97 ページ) 農業・農村経済学特別演習 レポートとプレゼンテーション及び授業中の積極性(発言回数、質問回数、など)を評価し、 (略)
(110 ページ) 農業・農村経済学特別研究 主指導教員、副指導教員による各個人の在籍期間中の評価(研究計画(40%)、研究に関するディスカッション(20%))とともに、報告会における評価(40%)を加味し、総合的に行なう。 (略)	(100 ページ) 農業・農村経済学特別研究 主指導教員、副指導教員による各個人の在籍期間中の評価とともに、報告会における評価を加味し、総合的に行なう。 (略)
(112 ページ) 農業・農村経済学実践プロジェクト プロジェクトと関連して授業内で課す課題(30%)、プロジェクトに関するディスカッション(30%)、プロジェクト成果の発表(40%)の評価を総合して行なう。 (略)	(101 ページ) 農業・農村経済学実践プロジェクト 毎回の課題、プロジェクトに取り組む態度、報告、発表などの評価とともに、総合的に行なう。 (略)
(114 ページ) 建築構造学特論 A 演習課題を 100 点満点で評価して、60 点以上を合格(90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可)とする。	(106 ページ) 建築構造学特論 A 演習課題および構造設計課題に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(115 ページ) 建築構造学特論 B 演習課題を 20 点満点、構造設計課題を 80 点満点で評価して、60 点以上を合格(90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可)とする。	(107 ページ) 建築構造学特論 B 演習課題および構造設計課題に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(116 ページ) 建築耐震設計特論 A	(108 ページ) 建築耐震設計特論 A

新	旧
<p>授業中の発表内容・質疑応答等で評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>発表や議論の内容の質に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>建築耐震設計特論B</p> <p>授業中の発表内容・質疑応答等で評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(109ページ)</p> <p>建築耐震設計特論B</p> <p>発表や議論の内容の質に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>(118ページ)</p> <p>建築構造解析特論A</p> <p>演習(50%)、構造解析法に関する最終レポート(50%)で評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(110ページ)</p> <p>建築構造解析特論A</p> <p>演習、レポート、授業への取り組みに関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>(119ページ)</p> <p>建築構造解析特論B</p> <p>演習(50%)、構造解析法に関する最終レポート(50%)で評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(111ページ)</p> <p>建築構造解析特論B</p> <p>演習、レポート、授業への取り組みに関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>(120ページ)</p> <p>建築構造材料特論A /Advanced Building Structural Material A</p> <p>各自が作成したレポート(40%)、発表の内容(40%)、討論の内容(20%)に関して総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(112ページ)</p> <p>建築構造材料特論A /Advanced Building Structural Material A</p> <p>各自が作成したレポート、発表の内容、討論の内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>(121ページ)</p> <p>建築構造材料特論B /Advanced Building Structural Material B</p> <p>各自が作成したレポート(40%)、発表の内容(40%)、討論の内容(20%)に関して総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(113ページ)</p> <p>建築構造材料特論B /Advanced Building Structural Material B</p> <p>各自が作成したレポート、発表の内容、討論の内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>
<p>(122ページ)</p> <p>木造建築特論A</p> <p>課題に対する取り組み姿勢(レポートの内容)(70%)、授業中の発表内容・質疑応答等(30%)で評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(114ページ)</p> <p>木造建築特論A</p> <p>授業中の質疑等の内容、課題に対する取り組み姿勢に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上:秀, 80%以上90%未満:優, 70%以上80%未満:良, 60%以上70%未満:可)とする。</p>

新	旧
<p>(123 ページ) 木造建築特論 B</p> <p>課題に対する取り組み姿勢 (レポートの内容) (70%), 授業中の発表内容・質疑応答等 (30%) で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(115 ページ) 木造建築特論 B</p> <p>授業中の質疑等の内容, 課題に対する取り組み姿勢に関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。</p>
<p>(124 ページ) 既存建築物分析学特論 A</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容 (80%), および講義中の討論内容 (20%) によって評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。3 分 2 以上出席しないと評価の対象としない。</p>	<p>(116 ページ) 既存建築物分析学特論 A</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容, および講義中の討論内容に関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。</p>
<p>(125 ページ) 既存建築物分析学特論 B</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容 (80%), および講義中の討論内容 (20%) によって評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。3 分 2 以上出席しないと評価の対象としない。</p>	<p>(117 ページ) 既存建築物分析学特論 B</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容, および講義中の討論内容に関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。</p>
<p>(126 ページ) エコロジカル建築特論 A / Advanced Ecological Architecture A</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容 (80%), および講義中の討論内容 (20%) によって評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(118 ページ) エコロジカル建築特論 A / Advanced Ecological Architecture A</p> <p>各自が分担したテーマに関するレポート及び発表内容に関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。</p>
<p>(127 ページ) エコロジカル建築特論 B / Advanced Ecological Architecture B</p> <p>各自が分担したテーマに対するレポート及び発表内容 (80%), および講義中の討論内容 (20%) によって評価する。60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(119 ページ) エコロジカル建築特論 B / Advanced Ecological Architecture B</p> <p>各自が分担したテーマに関するレポート及び発表内容に関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。</p>
<p>(128 ページ) 環境設備特論 A / Advanced Environmental Control Engineering A</p> <p>担当テーマに関する調査資料・発表・質疑応答集の内容 (70%)、他の発表者への質問内容 (10%)、環境・エネルギーに関するレポート (20%) で評価して、60 点以上を合格 (90</p>	<p>(120 ページ) 環境設備特論 A / Advanced Environmental Control Engineering A</p> <p>担当したテーマについての発表内容の質と他の学生の発表に対する質問の活発さ、授業中に課するレポートなどに関して総合的に評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%</p>

新	旧
点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(129 ページ) 環境設備特論 B /Advanced Environmental Control Engineering B 担当テーマに関する調査資料・発表・質疑応答集の内容(70%)、他の発表者への質問内容(10%)、環境・エネルギーに関するレポート(20%)で評価して、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(121 ページ) 環境設備特論 B /Advanced Environmental Control Engineering B ・担当したテーマについての発表内容の質と他の学生の発表に対する質問の活発さ、授業中に課するレポートなどに関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(130 ページ) 建築設計特論 A 期末レポート(50%)と授業中の発表内容・質疑討論の内容等(50%)を総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(122 ページ) 建築設計特論 A 課題に対する取り組み内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(131 ページ) 建築設計特論 B 期末レポート(50%)と授業中の発表内容・質疑討論の内容等(50%)を総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(123 ページ) 建築設計特論 B 課題に対する取り組み内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(132 ページ) 建築計画特論 A /Advanced Architectural Planning A 出題する小課題(60%)・レポート(40%)に関して総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(124 ページ) 建築計画特論 A /Advanced Architectural Planning A 出題する小課題・レポートに関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(133 ページ) 建築計画特論 B /Advanced Architectural Planning B 出題する小課題(60%)・レポート(40%)に関して総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(125 ページ) 建築計画特論 B /Advanced Architectural Planning B 出題する小課題・レポートに関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(134 ページ) 都市解析特論 A 少子化と高齢化に関するレポート内容を総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可)とする。	(126 ページ) 都市解析特論 A レポート内容に関して総合的に評価し、60%以上を合格(90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可)とする。
(135 ページ) 都市解析特論 B	(127 ページ) 都市解析特論 B

新	旧
<p>コンパクトシティに向けた地域課題に関するレポート内容を総合的に評価し、<u>60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p>	<p>レポート内容に関して総合的に評価し、<u>60%以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u></p>
<p>(136 ページ) 建築インターンシップ I</p> <p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート（50%）及び成果物の内容（50%）を指導教員が評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p>	<p>(128 ページ) 建築インターンシップ I</p> <p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(138 ページ) 建築インターンシップ II</p> <p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート（50%）及び成果物の内容（50%）を指導教員が評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p>	<p>(130 ページ) 建築インターンシップ II</p> <p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(140 ページ) 建築インターンシップ III</p> <p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート（50%）及び成果物の内容（50%）を指導教員が評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p>	<p>(131 ページ) 建築インターンシップ III</p> <p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(142 ページ) 建築インターンシップ IV</p> <p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート（50%）及び成果物の内容（50%）を指導教員が評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。</u></p>	<p>(132 ページ) 建築インターンシップ IV</p> <p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(144 ページ) 建築インターンシップ V</p>	<p>(134 ページ) 建築インターンシップ V</p>

新	旧
<p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート (50%) 及び成果物の内容 (50%) を指導教員が評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>	<p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格 (90%以上：秀, 80%以上 90%未満：優, 70%以上 80%未満：良, 60%以上 70%未満：可) とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(146 ページ) 建築インターンシップVI</p> <p>【学内】 <u>日誌・報告書・レポート (50%) 及び成果物の内容 (50%) を指導教員が評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p> <p>【学外】 <u>報告会での評価にもとづき、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>	<p>(136 ページ) 建築インターンシップVI</p> <p>【学内・学外】 <u>業務終了後の日誌、報告書、レポートに関して総合的に評価し、60 パーセント以上を合格 (90%以上：秀, 80%以上 90%未満：優, 70%以上 80%未満：良, 60%以上 70%未満：可) とする。</u> <u>実務研修時間 30 時間を原則 1 単位とする。</u></p>
<p>(148 ページ) 建築設計演習 I</p> <p>必要な履修生の作業および教員との相談の時間は学修記録によって保証・確認する。 <u>プロジェクトにおける討議内容 (40%)、および成果の出来栄え (60%) に関して総合的に評価し、</u> (略)</p>	<p>(138 ページ) 建築設計演習 I</p> <p>必要な履修生の作業および教員との相談の時間は学修記録によって保証・確認する。 <u>プロジェクトに対する姿勢、および成果の出来栄えに関して総合的に評価し、</u> (略)</p>
<p>(149 ページ) 建築設計演習 II</p> <p>必要な履修生の作業および教員との相談の時間は学修記録によって保証・確認する。 <u>プロジェクトにおける討議内容 (40%)、および成果の出来栄え (60%) に関して総合的に評価し、</u> (略)</p>	<p>(139 ページ) 建築設計演習 II</p> <p>必要な履修生の作業および教員との相談の時間は学修記録によって保証・確認する。 <u>プロジェクトに対する姿勢、および成果の出来栄えに関して総合的に評価し、</u> (略)</p>
<p>(150 ページ) 建築学特別演習 I</p> <p>先行研究の調査状況 (20%), 調査・実験・解析等の実施状況 (40%), 発表および質疑応答 (40%) に関して、総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(140 ページ) 建築学特別演習 I</p> <p>先行研究の調査状況, 調査・実験・解析等の実施状況, 発表および質疑応答に関して、総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(152 ページ) 建築学特別演習 II</p> <p>先行研究の調査状況 (20%), 調査・実験・解析等の実施状況 (40%), 発表および質疑応答 (40%) に関して、総合的に評価し、</p>	<p>(142 ページ) 建築学特別演習 II</p> <p>先行研究の調査状況, 調査・実験・解析等の実施状況, 発表および質疑応答に関して、総合的に評価し、 (略)</p>

新	旧
(略)	
(154 ページ) 建築学特別研究 先行研究の調査状況 (20%), 普段の研究の取組状況 (40%), 発表および指導教員とのディスカッション (40%) に関して総合評価を行い (略)	(146 ページ) 建築学特別研究 先行研究の調査状況, 普段の研究の取組状況%, 発表および指導教員とのディスカッションに関して総合評価を行い (略)
(156 ページ) 建築学特別設計 先行設計事例の調査状況 (20%), 普段の設計の取組状況 (40%), 発表および指導教員とのディスカッション (40%) に関して総合評価を行い (略)	(148 ページ) 建築学特別設計 先行設計事例の調査状況, 普段の設計の取組状況%, 発表および指導教員とのディスカッションに関して総合評価を行い (略)
(158 ページ) 橋梁工学特論 講義中の数回のレポート (50%) および期末試験 (50%) の結果を評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 89-80 点: 優, 79-70 点: 良, 69-60 点: 可) とする。	(152 ページ) 橋梁工学特論 講義中の数回のレポートおよび期末試験の結果を評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。
(159 ページ) 耐震工学特論 講義中の数回のレポート (50%) および期末試験の結果 (50%) を評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 89-80 点: 優, 79-70 点: 良, 69-60 点: 可) とする。	(153 ページ) 耐震工学特論 講義中の数回のレポートおよび期末試験の結果を評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。
(160 ページ) 岩盤力学特論 授業の課題 (50%) とまとめの試験 (50%) を評価し, 総合評価 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 89-80 点: 優, 79-70 点: 良, 69-60 点: 可) とする。	(154 ページ) 岩盤力学特論 授業の課題 (50%) とまとめの試験 (50%) を評価し, 総合評価 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。
(161 ページ) 地盤力学特論 課題レポートを 70%、グループ活動など授業への取り組み姿勢 (発言・質問状況, 振り返りシートへの書き込み状況など) を 30%として総合評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 89-80 点: 優, 79-70 点: 良, 69-60 点: 可) とする。	(155 ページ) 地盤力学特論 課題レポートを 70%、グループ活動など授業への取り組み姿勢 (発言・質問状況, 振り返りシートへの書き込み状況など) を 30%として総合評価し, 60%以上を合格 (90%以上: 秀, 80%以上 90%未満: 優, 70%以上 80%未満: 良, 60%以上 70%未満: 可) とする。
(162 ページ) 土木材料学特論 試験としてコンクリート技士の資格試験程度の試験を行	(156 ページ) 土木材料学特論 試験としてコンクリート技士の資格試験程度の試験を行

新	旧
<p>い、その成績 (50 点) と授業でのディスカッションでの発表内容、質問回数 (50 点) をもって評価を行い、 (略)</p> <p>(163 ページ) エコマテリアル工学特論</p> <p>各事例について、<u>修得内容をとりまとめたレポートの出来 (100%) により評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 89-80 点：優, 79-70 点：良, 69-60 点：可) とする。</u> なお、出席回数が 2/3 未満の場合は評価対象としない。また、欠席は減点とする。</p>	<p>い、その成績 (50 点) と授業でのディスカッションへの貢献度 (50 点) をもって評価を行い、 (略)</p> <p>(157 ページ) エコマテリアル工学特論</p> <p>各事例について、<u>習得内容をとりまとめたレポートの出来 (100%) により評価し、60%以上を合格 (90%以上：秀, 80%以上 90%未満：優, 70%以上 80%未満：良, 60%以上 70%未満：可) とする。</u> なお、出席回数が 2/3 未満の場合は評価対象としない。また、欠席は減点とする。</p>
<p>(168 ページ) 都市計画特論</p> <p><u>学期中に</u>出される課題レポートを総合点 100 点で評価し、 (略)</p>	<p>(162 ページ) 都市計画特論</p> <p><u>レポート課題</u>で評価し、 (略)</p>
<p>(169 ページ) 都市交通特論</p> <p><u>学期中に</u>出される課題レポートを総合点 100 点で評価し、 (略)</p>	<p>(163 ページ) 都市交通特論</p> <p><u>レポート課題</u>で評価し、 (略)</p>
<p>(170 ページ) 防災マネジメント特論／Advanced Disaster Reduction and Management</p> <p>中間レポート (40%) と期末レポート (60%) を総合し、総合点 100 点に対して、<u>60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80 点以上 90 点未満：優, 70 点以上 80 点未満：良, 60 点以上 70 点未満：可) とする。</u></p>	<p>(164 ページ) 防災マネジメント特論／Advanced Disaster Reduction and Management</p> <p>中間レポート (40%) と期末レポート (60%) を総合し、総合点 100 点に対して、<u>60%以上を合格 (90%以上：秀, 80%以上 90%未満：優, 70%以上 80%未満：良, 60%以上 70%未満：可) とする。</u></p>
<p>(171 ページ) 海外プロジェクト特論</p> <p><u>授業で修得した事項に関する期末レポート 100%に対して、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80 点以上 90 点未満：優, 70 点以上 80 点未満：良, 60 点以上 70 点未満：可) とする。</u></p>	<p>(165 ページ) 海外プロジェクト特論</p> <p>期末レポート 100 点に対して、<u>60%以上得点した場合を合格 (90 点以上：秀, 80 点以上 90 点未満：優, 70 点以上 80 点未満：良, 60 点以上 70 点未満：可) とする。</u></p>
<p>(172 ページ) 土木工学特別演習</p> <p>先行研究の調査状況を 25%, 調査・実験・解析等の実施状況を 50%, 発表および質疑応答を 25%として、総合評価 <u>60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80 点以上 90 点未満：優, 70 点以上 80 点未満：良, 60 点以上 70 点未満：可) とする。</u></p>	<p>(166 ページ) 土木工学特別演習</p> <p>先行研究の調査状況を 25%, 調査・実験・解析等の実施状況を 50%, 発表および質疑応答を 25%として、総合評価 <u>60%以上を合格 (90%以上：秀, 80%以上 90%未満：優, 70%以上 80%未満：良, 60%以上 70%未満：可) とする。</u></p>
<p>(174 ページ) 土木工学特別研究</p>	<p>(170 ページ) 土木工学特別研究</p>

新	旧
<p>先行研究の調査状況を 20%、普段の研究の<u>取組状況等に関する報告</u>（倫理的内容を含む）を 50%、発表および指導教員とのディスカッションを 30%として、総合評価 <u>60 点以上を合格（90 点以上：秀，80 点以上 90 点未満：優，70 点以上 80 点未満：良，60 点以上 70 点未満：可）とする。</u></p>	<p>先行研究の調査状況を 20%、普段の研究の<u>取組状況</u>（倫理的内容を含む）を 50%、発表および指導教員とのディスカッションを 30%として、総合評価 <u>60%以上を合格（90%以上：秀，80%以上 90%未満：優，70%以上 80%未満：良，60%以上 70%未満：可）とする。</u></p>
<p>（176 ページ） 環境数理 A</p> <p>演習 <u>（60%）</u> および自作問題のプレゼンテーション <u>（20%）</u> および質問への対応 <u>（20%）</u> により評価し、 （略）</p>	<p>（175 ページ） 環境数理 A</p> <p>演習問題のプレゼンテーション<u>での理解・説明力の程度や</u>質問への対応を合わせて評価し、 （略）</p>
<p>（177 ページ） 環境数理 B</p> <p>演習 <u>（60%）</u> および自作問題のプレゼンテーション <u>（20%）</u> および質問への対応 <u>（20%）</u> により評価し、 （略）</p>	<p>（176 ページ） 環境数理 B</p> <p>演習および自作問題のプレゼンテーションおよび質問への対応により評価し、 （略）</p>
<p>（178 ページ） 土壌環境物理学 A</p> <p>授業の到達目標に照らし、授業内容の理解度や運用能力を評価します。<u>成績評価に占める小課題および理解度確認のための総合課題の割合を 40%：60%とし、60 点以上を合格（90 点以上：秀，89-80 点：優，79-70 点：良，69-60 点：可）とします。</u></p>	<p>（177 ページ） 土壌環境物理学 A</p> <p>授業の到達目標に照らし、授業内容の理解度や運用能力を評価します。<u>その為に、定期試験に加え、授業期間中に複数回の小テスト等を実施します。成績評価に占める定期試験および小テスト等の割合を、定期試験 60%、小テスト等 40%とし、60 点以上を合格（90 点以上：秀，89-80 点：優，79-70 点：良，69-60 点：可）とする。</u></p>
<p>（179 ページ） 土壌環境物理学 B</p> <p>授業の到達目標に照らし、授業内容の理解度や運用能力を評価します。<u>成績評価に占める小課題および理解度確認のための総合課題の割合を 40%：60%とし、60 点以上を合格（90 点以上：秀，89-80 点：優，79-70 点：良，69-60 点：可）とします。</u></p>	<p>（178 ページ） 土壌環境物理学 B</p> <p>授業の到達目標に照らし、授業内容の理解度や運用能力を評価します。<u>その為に、定期試験に加え、授業期間中に複数回の小テスト等を実施します。成績評価に占める定期試験および小テスト等の割合を、定期試験 60%、小テスト等 40%とし、60 点以上を合格（90 点以上：秀，89-80 点：優，79-70 点：良，69-60 点：可）とする。</u></p>
<p>（183 ページ） 応用田園生態工学 B</p> <p>レポート <u>（60 点）</u> とワークショップ中の討議内容等 <u>（40 点）</u> により評価し、 （略）</p>	<p>（182 ページ） 応用田園生態工学 B</p> <p>レポートとワークショップへの取組により評価し、 （略）</p>
<p>（187 ページ） 農業土木学特別演習</p>	<p>（186 ページ） 農業土木学特別演習</p>

新	旧
ディスカッションの内容 (50%) および作成資料 (50%) に基づき、成績評価を行い、 (略)	ディスカッションの内容および作成された資料に基づき、成績評価を行い、 (略)
(191 ページ) 貧困問題と国際協力 I <u>貧困問題と国際協力に関する最終レポート (70%) とプレゼンテーション (30%) を考慮し、</u> (略)	(190 ページ) 貧困問題と国際協力 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(192 ページ) 防災と国際協力 I <u>防災と国際協力に関する最終レポート (50%) とプレゼンテーション (30%) 及び授業中の討議内容等 (20%) を考慮し、</u> (略)	(192 ページ) 防災と国際協力 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(193 ページ) 環境問題とガバナンス I <u>環境問題とガバナンスに関する最終レポート (50%) とプレゼンテーション (30%) 及び授業中の討議内容等 (20%) を考慮し、</u> (略)	(194 ページ) 環境問題とガバナンス I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(194 ページ) 情報ネットワークと技術 I <u>情報ネットワークと技術に関する最終レポート (50%) とプレゼンテーション (30%) 及び授業中の討議内容等 (20%) を考慮し、</u> (略)	(196 ページ) 情報ネットワークと技術 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(195 ページ) 人間の安全保障と国連 I <u>人間の安全保障と国連に関する最終レポート (50%) とプレゼンテーション (30%) 及び授業中の討議内容等 (20%) を考慮し、</u> (略)	(198 ページ) 人間の安全保障と国連 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(196 ページ) 国際人権保障と平和構築 I <u>国際人権保障と平和構築に関する最終レポート (50%) とプレゼンテーション (30%) 及び授業中の討議内容等 (20%) を考慮し、</u> (略)	(200 ページ) 国際人権保障と平和構築 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(198 ページ) Globalization and Project Management I	(204 ページ) Globalization and Project Management I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への</u>

新	旧
<p>グローバル化とプロジェクト・マネジメントに関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)</p>	<p>の貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(199 ページ) グローバル教育と開発教育 I</p> <p>グローバル教育と開発教育に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)</p>	<p>(206 ページ) グローバル教育と開発教育 I</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(201 ページ) 国際 NPO 起業とその実践 I</p> <p>国際 NPO 企業とその実践に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</p>	<p>(210 ページ) 国際 NPO 起業とその実践 I</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(202 ページ) 貧困問題と国際協力 II</p> <p>貧困問題と国際協力に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</p>	<p>(191 ページ) 貧困問題と国際協力 II</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(203 ページ) 防災と国際協力 II</p> <p>防災と国際協力に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)</p>	<p>(193 ページ) 防災と国際協力 II</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(204 ページ) 環境問題とガバナンス II</p> <p>環境問題とガバナンスに関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</p>	<p>(195 ページ) 環境問題とガバナンス II</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(205 ページ) 情報ネットワークと技術 II</p> <p>情報ネットワークと技術に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)</p>	<p>(197 ページ) 情報ネットワークと技術 II</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(206 ページ) 人間の安全保障と国連 II</p>	<p>(199 ページ) 人間の安全保障と国連 II</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への</p>

新	旧
人間の安全保障と国連に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	の貢献度等を考慮し、 (略)
(207 ページ) 国際人権保障と平和構築 II <u>国際人権保障と平和構築に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)	(202 ページ) 国際人権保障と平和構築 II <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(209 ページ) Globalization and Project Management II <u>グローバリゼーションとプロジェクト・マネージメントに関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)	(205 ページ) Globalization and Project Management II <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(210 ページ) グローバル教育と開発教育 II <u>グローバル教育と開発教育に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)	(208 ページ) グローバル教育と開発教育 II <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(212 ページ) 国際 NPO 起業とその実践 II <u>国際 NPO 企業とその実践に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</u>	(211 ページ) 国際 NPO 起業とその実践 II <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(213 ページ) タイの開発と地域社会 I <u>タイの開発と地域社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</u>	(212 ページ) タイの開発と地域社会 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(214 ページ) タイの開発と地域社会 II <u>タイの開発と地域社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</u>	(213 ページ) タイの開発と地域社会 II <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)
(215 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 I	(214 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 I

新	旧
東アジア国際政治の歴史に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)	最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(216 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 II 東アジア国際政治の歴史に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、 (略)	(215 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 II 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(217 ページ) 東アジアの歴史と文化 I 東アジアの歴史と文化に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	(216 ページ) 東アジアの歴史と文化 I 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(218 ページ) 東アジアの歴史と文化 II 東アジアの歴史と文化に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	(217 ページ) 東アジアの歴史と文化 II 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(219 ページ) 日本の自然と地域生活 I 日本の自然と地域生活に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	(218 ページ) 日本の自然と地域生活 I 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(220 ページ) 日本の自然と地域生活 II 日本の自然と地域生活に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	(219 ページ) 日本の自然と地域生活 II 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(221 ページ) アメリカの経済と金融 I アメリカの経済と金融に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)	(220 ページ) アメリカの経済と金融 I 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)
(222 ページ) アメリカの経済と金融 II	(221 ページ) アメリカの経済と金融 II 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、

新	旧
<p>アメリカの経済と金融に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</p>	(略)
<p>(223 ページ) Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」</p> <p><u>ラテンアメリカの経済と社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)</p>	<p>(222 ページ) Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>
<p>(224 ページ) Economy and Society in Latin AmericaII 「ラテンアメリカの経済と社会 II」</p> <p><u>ラテンアメリカの経済と社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)</p>	<p>(223 ページ) Economy and Society in Latin America II 「ラテンアメリカの経済と社会 II」</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>
<p>(225 ページ) 中東地域の政治と社会 I</p> <p><u>中東地域の政治と社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)</p>	<p>(224 ページ) 中東地域の政治と社会 I</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>
<p>(225 ページ) 中東地域の政治と社会 II</p> <p><u>中東地域の政治と社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、(略)</u></p>	<p>(225 ページ) 中東地域の政治と社会 II</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>
<p>(227 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 I</p> <p><u>東アフリカの社会開発と文化に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)</p>	<p>(226 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 I</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>
<p>(228 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 II</p> <p><u>東アフリカの社会開発と文化に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)を考慮し、</u> (略)</p>	<p>(227 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 II</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、</u> (略)</p>

新	旧
<p>(229 ページ) 特別臨地研究 I</p> <p><u>修了証明書が提出されていることを前提とし、現地調査に関する成果報告書に基づいて評価し、</u> (略)</p>	<p>(228 ページ) 特別臨地研究 I</p> <p><u>提出された修了証明書と成果報告書に基づいて評価し、</u> (略)</p>
<p>(230 ページ) 特別臨地研究 II</p> <p><u>修了証明書が提出されていることを前提とし、現地調査に関する成果報告書に基づいて評価し、</u> (略)</p>	<p>(229 ページ) 特別臨地研究 II</p> <p><u>提出された修了証明書と成果報告書に基づいて評価し、</u> (略)</p>
<p>(231 ページ) グローバル・エリアスタディーズ特別演習</p> <p><u>毎回の報告内容について理解・要約 (50%)、論点整理・提起 (50%) から総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(230 ページ) グローバル・エリアスタディーズ特別演習</p> <p><u>授業への参加態度、事前の準備等から総合的に 100 点満点</u> で評価し、 (略)</p>
<p>(233 ページ) グローバル・エリアスタディーズ特別研究</p> <p><u>毎回の報告内容について理解・要約 (50%)、論点整理・提起 (50%) で総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(234 ページ) グローバル・エリアスタディーズ特別研究</p> <p><u>主指導教員、副指導教員による評価とともに、必要に応じて研究報告会における評価等を加味し、総合的に行なう。</u> 100 点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(235 ページ) グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト</p> <p><u>毎回の課題 (30%)、プロジェクトに対する討議内容等 (30%)、報告、発表などの評価 (40%) とともに、総合的に行う。</u> (略)</p>	<p>(236 ページ) グローバル・エリアスタディーズ実践プロジェクト</p> <p><u>毎回の課題、プロジェクトに取り組む態度、報告、発表などの評価とともに、総合的に行う。</u> (略)</p>
<p>(237 ページ) 現代英語研究 I</p> <p><u>課題レポート (70%) 及び授業中の討論発表・質疑応答等 (30%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>	<p>(239 ページ) 現代英語研究 I</p> <p><u>課題レポート (70%) 及び授業中の討論発表・取組み状況等 (30%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</u></p>
<p>(238 ページ) 感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p><u>授業での発表 (30%) と感情コミュニケーションと社会的共生に関するレポート (70%) で評価し、</u> (略)</p>	<p>(241 ページ) 感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p>授業での発表とレポートで評価し、 (略)</p>

新	旧
<p>(239 ページ)</p> <p>日本表象文化研究 I / Studies on Japanese Culture and Representation I</p> <p>論述試験 (または発表) を評価の基本とする (70%)。討議や質疑応答の内容等も評価材料とする (30%)。</p> <p>(略)</p>	<p>(243 ページ)</p> <p>日本表象文化研究 I / Studies on Japanese Culture and Representation I</p> <p>論述試験 (または発表) を評価の基本とする (70%)。授業態度も参照材料とする (30%)。</p> <p>(略)</p>
<p>(240 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>発表と授業中の質疑討論の内容等 (50%)、学期末レポート (50%) とし、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(245 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>発表も含めた授業全体への取り組み (50%)、学期末レポート (50%) とし、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(241 ページ)</p> <p>日本語論述表現法 I Japanese Academic Writing I</p> <p>課題作文 (50%)、教室活動での討議内容・質疑応答等 (50%)。</p> <p>60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(247 ページ)</p> <p>日本語論述表現法 I Japanese Academic Writing I</p> <p>課題作文 (50%)、教室活動への参加度 (予習、出席と質問への応答) (50%)。</p> <p>60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(242 ページ)</p> <p>多文化教育研究 I</p> <p>授業中の討議内容等 (40%)、学期末プレゼンテーション (30%) および学期末レポートの結果 (30%) を総合的に評価し、(略)</p>	<p>(271 ページ)</p> <p>多文化教育研究 I</p> <p>授業への取り組み (40%)、学期末プレゼンテーション (30%) および学期末レポートの結果 (30%) を総合的に評価し、(略)</p>
<p>(243 ページ)</p> <p>現代英語研究 II</p> <p>課題レポート (70%) 及び授業中の討論発表・質疑応答等 (30%) により総合的に評価し、(略)</p>	<p>(240 ページ)</p> <p>現代英語研究 II</p> <p>課題レポート (70%) 及び授業中の討論発表・取組み状況等 (30%) により総合的に評価し、(略)</p>
<p>(244 ページ)</p> <p>感情コミュニケーションと社会的共生 II</p> <p>授業での発表 (30%) と授業内容を踏まえた社会的問題への対応策に関するレポート (70%) で評価し、(略)</p>	<p>(242 ページ)</p> <p>感情コミュニケーションと社会的共生 II</p> <p>授業での発表とレポートで評価し、(略)</p>
<p>(245 ページ)</p> <p>日本表象文化研究 II / Studies on Japanese Culture and Representation II</p> <p>論述試験 (または発表) を評価の基本とする (70%)。討議や質疑応答の内容等も評価材料とする (30%)。</p> <p>(略)</p>	<p>(244 ページ)</p> <p>日本表象文化研究 II / Studies on Japanese Culture and Representation II</p> <p>論述試験 (または発表) を評価の基本とする (70%)。授業態度も参照材料とする (30%)。</p> <p>(略)</p>

新	旧
<p>(246 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ</p> <p><u>発表と授業に対する質疑討論の内容等</u> (50%)、学期末レポート (50%) とし、 (略)</p>	<p>(246 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動Ⅱ</p> <p><u>発表も含めた授業全体への取り組み</u> (50%)、学期末レポート (50%) とし、 (略)</p>
<p>(247 ページ)</p> <p>日本語論述表現法Ⅱ Japanese Academic WritingⅡ</p> <p>課題作文 (50%)、<u>教室活動での討議内容・質疑応答等</u> (50%)。 (略)</p>	<p>(248 ページ)</p> <p>日本語論述表現法Ⅱ Japanese Academic WritingⅡ</p> <p>課題作文 (50%)、<u>教室活動への参加度 (予習、出席と質問への応答)</u> (50%)。 (略)</p>
<p>(248 ページ)</p> <p>多文化教育研究Ⅱ</p> <p><u>授業中の討議内容等</u> (40%)、学期末プレゼンテーション (30%) および学期末レポートの結果 (30%) を総合的に評価し、(略)</p>	<p>(271 ページ)</p> <p>多文化教育研究Ⅱ</p> <p><u>授業への取り組み</u> (40%)、学期末プレゼンテーション (30%) および学期末レポートの結果 (30%) を総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(249 ページ)</p> <p>国際交流と日本語教育Ⅰ International Exchange and Japanese Language EducationⅠ</p> <p>教室活動 (30%)、<u>資料講読後の質疑討論の内容等</u>、課題1の<u>個人発表</u> (30%)、課題2の<u>個人発表</u> (30%)、学期末の学習記録 (10%)、必ず提出) により評価し、 (略)</p>	<p>(249 ページ)</p> <p>国際交流と日本語教育Ⅰ International Exchange and Japanese Language EducationⅠ</p> <p>教室活動 (30%)、課題1 (30%)、課題2 (30%)、 (略)</p>
<p>(250 ページ)</p> <p>国際交流と日本語教育Ⅱ International Exchange and Japanese Language EducationⅡ</p> <p>教室活動 (30%)、<u>資料講読後の質疑討論の内容等</u>、課題1の<u>個人発表</u> (30%)、課題2の<u>個人発表</u> (30%)、学期末の学習記録 (10%)、必ず提出) により評価し、 (略)</p>	<p>(250 ページ)</p> <p>国際交流と日本語教育Ⅱ International Exchange and Japanese Language EducationⅡ</p> <p>教室活動 (30%)、課題1 (30%)、課題2 (30%)、学期末の学習記録 (10%)、必ず提出) により評価し、 (略)</p>
<p>(251 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究Ⅰ</p> <p><u>授業中の討議内容等</u> (50%) とレポート (50%) で総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(251 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究Ⅰ</p> <p><u>授業への取り組み</u> とレポートで総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(252 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究ⅠⅠ</p> <p><u>授業中の討議内容等</u> (50%) とレポート (50%) を総合的に評価し、</p>	<p>(252 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究ⅠⅠ</p> <p><u>授業への取り組み</u> とレポートを総合的に評価し、 (略)</p>

新	旧
(略)	
(253 ページ) イギリス文化研究 I <u>授業で扱った芸術作品に関する最終レポート</u> を評価する。 (略)	(253 ページ) イギリス文化研究 I レポートを <u>採点</u> し評価する。 (略)
(254 ページ) イギリス文化研究 II <u>授業で扱った文献に関する最終レポート (60%) と講読時の質疑討論の内容等 (40%)</u> を採点し評価する。 (略)	(254 ページ) イギリス文化研究 II <u>レポートと講読の活動状況</u> を採点し評価する。 (略)
(255 ページ) フランス思想・文化研究 I / Studies on French Thought and Culture <u>フランスの近代思想に関する最終レポート (70%)、授業中の発表内容 (30%)</u> をもとに評価し、 (略)	(255 ページ) フランス思想・文化研究 I / Studies on French Thought and Culture <u>レポートの採点結果、討論の発表内容</u> をもとに評価し、 (略)
(256 ページ) フランス思想・文化研究 II / Studies on French Thought and Culture <u>フランスの近代小説に関する最終レポート (70%)、授業中の発表内容 (30%)</u> をもとに評価し、 (略)	(257 ページ) フランス思想・文化研究 II / Studies on French Thought and Culture <u>レポートの採点結果、討論の発表内容</u> をもとに評価し、 (略)
(257 ページ) 西洋史研究 I 授業での <u>専門論文読解と専門的知識の獲得状況</u> (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。	(259 ページ) 西洋史研究 I 授業での <u>取り組み</u> (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。
(258 ページ) 西洋史研究 II 授業での <u>専門的論文と専門知識獲得状況</u> (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。	(260 ページ) 西洋史研究 II 授業での <u>取り組み</u> (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。
(259 ページ) 性と人権論 I	(261 ページ) 性と人権論 I

新	旧
授業時の振り返り用紙の記述状況(50%)、ミニテスト(50%) を採点し評価する。 (略)	授業時の振り返り用紙の記述状況、ミニテストを採点し評 価する。 (略)
(260 ページ) 性と人権論 II プレゼン(50%)ならびに授業時の振り返り用紙の記述状況 (50%) を採点し評価し、 (略)	(262 ページ) 性と人権論 II プレゼンならびに授業時の振り返り用紙の記述状況を採 点し評価し、 (略)
(261 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 I <u>東アジアの比較文学に関する最終レポート(70%)と発表 内容(30%)</u> で評価し、 (略)	(263 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 I <u>発表内容と授業態度(議論)、レポートをもとに評価し、</u> (略)
(262 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 II <u>東アジアの比較文学に関する最終レポート(70%)と発表 内容(30%)</u> で評価し、 (略)	(264 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 II <u>発表内容と授業態度(議論)、レポートをもとに評価し、</u> (略)
(263 ページ) 人権と法 I <u>授業への事前課題の内容(50%)および授業中の発言 (50%)</u> で総合的に評価し、(略)	(265 ページ) 人権と法 I <u>授業への参加態度(事前課題に対する取組みや授業中の発 言等)</u> で総合的に評価し、 (略)
(264 ページ) 人権と法 II <u>授業への事前課題の内容(50%)および授業中の発言 (50%)</u> で総合的に評価し、(略)	(266 ページ) 人権と法 II <u>授業への参加態度(事前課題に対する取組みや授業中の発 言等)</u> で総合的に評価し、 (略)
(265 ページ) ジェンダーとアイデンティティ I <u>文献理解の度合い、授業での質疑討論の内容等(50%)な らびに文献解題、発表等(50%)</u> を総合的に評価し、60点 以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。	(267 ページ) ジェンダーとアイデンティティ I <u>Readings, Class Discussion, and Participation: 50%/Annotated Bibliographies 50%</u> 総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89 点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。
(266 ページ) ジェンダーとアイデンティティ II <u>文献理解の度合い、授業での質疑討論の内容等(50%)な らびに文献解題、発表等(50%)</u> を総合的に評価し、60点	(269 ページ) ジェンダーとアイデンティティ II <u>Readings, Class Discussion, and Participation: 50%/Annotated Bibliographies 50%</u> 総合的に評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89

新	旧
以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(267 ページ) シティズンシップ教育 I 授業中の討議内容等 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(273 ページ) シティズンシップ教育 I 授業への取組 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(268 ページ) シティズンシップ教育 II 授業中の討議内容等 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(274 ページ) シティズンシップ教育 II 授業への取組 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(270 ページ) 日本文学研究 I / Studies on Japanese Literature I リアクションペーパーへのコメントと最終レポートを評価の基本とする (70%)。授業中の質疑討論の内容等も参照材料とする (30%)。総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(275 ページ) 日本文学研究 I / Studies on Japanese Literature I 期末レポート (60%)。授業への取り組み (40%)。総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(272 ページ) 日本文学研究 II / Studies on Japanese Literature II リアクションペーパーへのコメントと最終レポートを評価の基本とする (70%)。授業中の質疑討論の内容等も参照材料とする (30%)。 (略)	(276 ページ) 日本文学研究 II / Studies on Japanese Literature II 発表とレポートを評価の基本とする (70%)。授業態度も参照材料とする (30%)。 (略)
(274 ページ) 日本文化研究 I 最終レポート (50%)、授業中の討議内容等 (50%) で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(277 ページ) 日本文化研究 I 受講態度 (50%) とレポートなどの提出物 (50%) によって総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(275 ページ) 日本文化研究 II 日本文化に関する最終レポート (50%)、授業中の討議内容等 (50%) で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(278 ページ) 日本文化研究 II 受講態度 (50%) とレポートなどの提出物 (50%) によって総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(276 ページ) 文化人類学研究 I 授業での発表 (60%) と期末レポート (40%) により評価し、	(279 ページ) 文化人類学研究 I 授業での発表 (60%) と期末レポート (50%) により総合的に

新	旧
(略)	評価し、 (略)
(277 ページ) 文化人類学研究 II 授業での発表(60%)と期末レポート(40%)により評価し、 (略)	(280 ページ) 文化人類学研究 II 授業での発表(60%)と期末レポート(50%)により総合的に評価し、 (略)
(278 ページ) 言語普遍性と英文法研究 I 授業中の討議内容等 70%、課題の成績 30%を総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。	(281 ページ) 言語普遍性と英文法研究 I 普段の学習状況 70%、課題の成績 30%を総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。
(280 ページ) 言語普遍性と英文法研究 II 授業中の討議内容等 70%、小論文の成績 30%を総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。	(282 ページ) 言語普遍性と英文法研究 II 普段の学習状況 70%、小論文の成績 30%を総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。
(282 ページ) 英語音声学 I 小テストを 30 点満点、授業中の討論内容等を 20 点満点、最終レポートと発表を 50 点満点で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。	(283 ページ) 英語音声学 I 普段の学習状況 20%、レポートと発表 80%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。
(283 ページ) 英語音声学 II 小テストを 30 点満点、授業中の討議内容等を 20 点満点、最終レポートと発表を 50 点満点で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。	(284 ページ) 英語音声学 II 普段の学習状況 20%、レポートと発表 80%により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。
(284 ページ) 英語学研究 I 発表内容と授業中の質疑討論の内容等 (50%)、統語論ないし意味論に関する最終レポート (50%) を総合的に評価し、 (略)	(285 ページ) 英語学研究 I 出席状況を含む授業態度 (50%)、課題への取り組み (50%) を総合的に評価し、 (略)
(286 ページ) 英語学研究 II	(286 ページ) 英語学研究 II 出席状況を含む授業態度 (50%)、課題への取り組み (50%) を総合的に評価し、

新	旧
発表内容と授業中の質疑討論の内容等 (50%), <u>統語論ないし意味論に関する最終レポート</u> (50%) を総合的に評価し、 (略)	(略)
(292 ページ) 芸術学研究 I 授業時の取り組み (<u>意見交換、質疑、討論、発表等の内容</u>) (60%)、 <u>芸術学に関する学術レポート</u> (40%) により総合的に評価し、 (略)	(291 ページ) 芸術学研究 I 授業時の取り組み (60%)、レポート (40%) により総合的に評価し、 (略)
(293 ページ) 芸術学研究 II 授業時の取り組み (<u>意見交換、質疑、討論、発表等</u>) (60%)、 <u>芸術学に関する自己の課題に即した学術レポート</u> (40%) により総合的に評価し、 (略)	(292 ページ) 芸術学研究 II 授業時の取り組み (<u>30%</u>)、 <u>小レポート (30%)</u> 、 <u>課題レポート (40%)</u> により総合的に評価し、 (略)
(295 ページ) 音楽創作文化研究 I / Studies on Creation of Music I 期末レポート (60%) と <u>授業中の質疑討論の内容等</u> (40%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。	(293 ページ) 音楽創作文化研究 I / Studies on Creation of Music I 期末レポート (60%) と <u>授業への取り組み</u> (40%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。
(297 ページ) 音楽創作文化研究 II / Studies on Creation of Music II 期末レポート (60%) と <u>授業中の質疑討論の内容等</u> (40%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。	(293 ページ) 音楽創作文化研究 II / Studies on Creation of Music II 期末レポート (60%) と <u>授業への取り組み</u> (40%) により総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。
(299 ページ) 西洋近現代哲学研究 I <u>テキスト講読に関する課題</u> 40%、レポート (<u>授業テーマごとに 4 課題</u>) 60% により総合的に評価し、 (略)	(295 ページ) 西洋近現代哲学研究 I <u>授業への取り組み</u> 40%、レポート 60% により総合的に評価し、 (略)
(301 ページ) 西洋近現代哲学研究 II <u>テキスト講読に関する課題</u> 40%、レポート (<u>授業テーマごとに 4 課題</u>) 60% により総合的に評価し、 (略)	(296 ページ) 西洋近現代哲学研究 II <u>授業への取り組み</u> 40%、レポート 60% により総合的に評価し、 (略)
(303 ページ) 日本史研究 I Studies on Japanese History I	(297 ページ) 日本史研究 I Studies on Japanese History I

新	旧
<p>授業時の発表内容 (50%)、日本史研究の現状に関するレポート (50%) で評価し、 (略)</p>	<p>授業への取り組み 50%、レポート 50%により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(304 ページ) 日本史研究Ⅱ Studies on Japanese History Ⅱ</p> <p>授業時の発表内容 (50%)、歴史と史料に関するレポート (50%) で評価し、 (略)</p>	<p>(298 ページ) 日本史研究Ⅱ Studies on Japanese History Ⅱ</p> <p>授業への取り組み 50%、レポート 50%により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(306 ページ) 日本語教育学研究Ⅰ</p> <p>日本語教育学に関する最終レポート (50%)、発表内容・授業中の質疑討論の内容等 (50%) で評価し、 (略)</p>	<p>(299 ページ) 日本語教育学研究Ⅰ</p> <p>授業への取り組み (60%) と課題の達成状況 (40%) を総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(308 ページ) 日本語教育学研究Ⅱ</p> <p>日本語教育学に関する最終レポート (50%)、発表内容・授業中の質疑討論の内容等 (50%) で評価し、 (略)</p>	<p>(300 ページ) 日本語教育学研究Ⅱ</p> <p>授業への取り組み (60%) と課題の達成状況 (40%) を総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(310 ページ) ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ</p> <p>発表内容・授業中の質疑討論の内容等 (50%)、期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(301 ページ) ヨーロッパ表象文化研究Ⅰ</p> <p>授業での取り組み (50%)、期末課題 (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(312 ページ) ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ</p> <p>発表内容・授業中の質疑討論の内容等 (50%)、期末レポート (50%) により総合的に評価し、(略)</p>	<p>(302 ページ) ヨーロッパ表象文化研究Ⅱ</p> <p>授業での取り組み (50%)、期末課題 (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(318 ページ) 日本語史と日本語研究Ⅰ</p> <p>発表 (30%)、授業中の討議内容等 (20%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(307 ページ) 日本語史と日本語研究Ⅰ</p> <p>発表も含めた授業全体への取り組み (50%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(320 ページ) 日本語史と日本語研究Ⅱ</p> <p>発表 (30%)、授業中の討議内容等 (20%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(308 ページ) 日本語史と日本語研究Ⅱ</p> <p>演習も含めた授業への取り組み (50%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>

新	旧
<p>(322 ページ) 古代日本言語文化研究 I</p> <p>授業での発表内容・討議内容等 (40%)、レポート (60%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(309 ページ) 古代日本言語文化研究 I</p> <p>授業への参加度 (40%)、 (略)</p>
<p>(324 ページ) 古代日本言語文化研究 II</p> <p>授業での発表内容、討議内容等 (40%)、レポート (60%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(310 ページ) 古代日本言語文化研究 II</p> <p>授業への参加度 (40%)、 (略)</p>
<p>(326 ページ) グローバル時代の学校教育 I</p> <p>授業中の討議内容等 50%、レポート 50%により総合的に 評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優， 70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(311 ページ) グローバル時代の学校教育 I</p> <p>授業への取組 50%、レポート 50%により総合的に評価し、 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点： 良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(328 ページ) グローバル時代の学校教育 II</p> <p>授業中の討議内容等 50%、レポート 50%により総合的に 評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優， 70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(312 ページ) グローバル時代の学校教育 II</p> <p>授業への取組 50%、レポート 50%により総合的に評価し、 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点： 良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(332 ページ) 多文化共生学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による各個人の，<u>調査・研究計画 内容及び討議内容等 (50%) 並びに報告会における評価 (50%)</u> を総合し、 (略)</p>	<p>(317 ページ) 多文化共生学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による各個人の<u>在籍期間中の評価 及び報告会における評価</u>を総合し、 (略)</p>
<p>(334 ページ) 多文化共生学実践プロジェクト</p> <p>主指導教員，副指導教員による，各個人の<u>演習や調査の計 画・分析内容等 (20%)</u> とともに，<u>最終レポート (40%)</u> と <u>プレゼンテーション (20%)</u> 及び<u>授業中の質疑討論の内容 等 (20%)</u> 等を総合的に評価し、(略)</p>	<p>(319 ページ) 多文化共生学実践プロジェクト</p> <p>主指導教員，副指導教員による各個人の<u>在籍期間中の評価 とともに，最終レポートとプレゼンテーション及び授業中 の議論への貢献度等</u>を総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(336 ページ) 人間発達支援方法論</p> <p>最終レポート (30%) 及び各回授業の課題への取り組み (50%)，討論への参加態度 (20%) で評価し <u>60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点： 可) とする。</u></p>	<p>(322 ページ) 教育方法支援論</p> <p>最終レポート (30%) 及び各回授業の課題への取り組み (50%)，討論への参加態度 (20%) の合計が，<u>60%以上を可， 70%以上を良，80%以上を優，90%以上を秀と評価する。</u></p>

新	旧
<p>(337 ページ) 社会的思考支援論</p> <p>毎回の授業中の討議内容等(30%)及び授業中の課題(20%), 最終レポート(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上: 秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(323 ページ) 社会的思考支援論</p> <p>毎回の授業参加への取組状況(30%)及び授業中の課題 (20%), 最終レポート(50%)の合計が、60%以上を可, 70%以上 を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(338 ページ) 生涯発達支援論</p> <p>課題レポート(80%)及び授業中の討論発表・質疑応答等 (20%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89 点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(324 ページ) 生涯発達支援論</p> <p>課題レポート(80%)及び授業中の討論発表・取組み状況等 (20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(340 ページ) 共に生きるかたちの心理学特論</p> <p>課題レポート(100%)で評価し、60点以上を合格(90点以上: 秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(326 ページ) 共に生きるかたちの心理学特論</p> <p>課題レポート(100%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(342 ページ) ヘルスプロモーション特論</p> <p>授業内の課題(30%), プレゼンの完成度と質疑討論の内容 等(30%), 学期末レポート(40%)で評価し、60点以上を合 格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69 点:可)とする。</p>	<p>(344 ページ) ヘルスプロモーション特論</p> <p>授業内の課題(30%), プレゼンの完成度と議論への参加状 況(30%), 学期末レポート(40%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(344 ページ) 生活環境創造支援論</p> <p>授業中の討議内容等(20%)と各教員が課すレポート課題 (80%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89 点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(331 ページ) 生活環境学支援論</p> <p>授業への取り組み(20%)と各教員が課すレポート課題 (80%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(350 ページ) 認知心理的支援論</p> <p>授業中の討議内容等(20%), 中間課題成績(40%), 期末試験 成績(40%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80- 89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(325 ページ) 認知心理的支援論</p> <p>授業態度(20%), 中間課題成績(40%), 期末試験成績(40%) の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90% 以上を秀と評価する。</p>
<p>(352 ページ) 遊びと感情の社会学特論</p> <p>授業中の討議内容等(20%)及びレポート(80%)で評価し、60 点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点: 良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(328 ページ) 遊びと感情の社会学特論</p> <p>毎回の授業参加(20%)及びレポート(80%)の合計が、60%以上 を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価 する。</p>
<p>(354 ページ) 地域環境システム論</p>	<p>(329 ページ) 地域環境システム論</p>

新	旧
<p>ディスカッションでの発言(50%)及び巡検の準備と授業中の質疑討論の内容等(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>ディスカッションでの発言(50%)及び巡検の準備と参加態度(50%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(356 ページ) 衣環境学特論</p> <p>授業中の討議内容等(40%)と最終プレゼン及び報告書(60%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(330 ページ) 衣生活科学支援論</p> <p>授業への取り組み(40%)と最終プレゼン及び報告書(60%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(358 ページ) 生活経営支援論</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(333 ページ) 生活経営支援論</p> <p>最終レポート(30%)及び各回授業の課題への取り組み(50%)、授業への参加態度(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(360 ページ) 消費者教育支援論</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(334 ページ) 消費者教育支援論</p> <p>最終レポート(30%)及び各回授業の課題への取り組み(50%)、討論への参加態度(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(362 ページ) 健康管理支援論</p> <p>最終レポート(70%)、各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(30%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(336 ページ) 健康管理支援論</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題への取り組み(30%)、討論への参加の積極性等(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(364 ページ) 身体科学特論</p> <p>最終レポート(70%)、各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(30%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(338 ページ) 身体科学特論</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題への取り組み(30%)、討論への参加の積極性等(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(366 ページ) 運動発達特論</p> <p>最終レポート(50%)及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(339 ページ) 運動発達特論</p> <p>最終レポート(30%)及び各回授業の課題への取り組み(50%)、討論への参加態度(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(368 ページ) 身体運動学演習</p>	<p>(340 ページ) 身体運動学演習</p>

新	旧
<p>最終レポート(40%)及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(60%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>最終レポート(40%)及び各回授業の課題への取り組み(60%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(370 ページ) スポーツ指導支援論</p> <p>最終レポート(70%), 各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(30%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(341 ページ) スポーツ指導支援論</p> <p>出席状況(50%), 提出物(20%), 授業中の活動(30%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(372 ページ) 生涯身体発達支援論</p> <p>各回授業の課題に対する質疑討論の内容等(40%)、期末レポート(60%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(342 ページ) 生涯身体教育支援論</p> <p>各回授業の課題への取り組み(40%)、討論への参加の積極性等(20%)、期末レポート(40%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(374 ページ) 情報コミュニケーション演習</p> <p>授業中の課題に対する討議内容等(100%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(346 ページ) 情報コミュニケーション演習</p> <p>授業の課題への取り組み(60%)、討論への参加の積極性等(40%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(376 ページ) 情報科学技術特論</p> <p>授業中の課題に対する討議内容等(100%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(347 ページ) 情報科学技術特論</p> <p>授業の課題への取り組み(60%)、討論への参加の積極性等(40%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(378 ページ) 科学コミュニケーション演習</p> <p>講義前半の発表内容(30%), 各回の討論内容(20%), 講義後半の問題解決課題に対する質疑討論の内容等(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(348 ページ) 科学コミュニケーション演習</p> <p>講義前半の発表担当への取り組み(30%), 各回の討論への貢献(20%), 講義後半の問題解決課題への取り組み(50%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価します。</p>
<p>(392 ページ) 外国語コミュニケーション演習</p> <p>最終プレゼンテーション(70%)及び各回授業の課題に対する討議内容等(30%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(362 ページ) 外国語コミュニケーション演習</p> <p>最終プレゼンテーション(50%)及び各回授業の課題への取り組み(30%), 討論への参加の積極性等(20%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評価する。</p>
<p>(394 ページ) 論理表現コミュニケーション演習</p> <p>期末課題(30%), 授業における作文課題(70%)で評価し、60</p>	<p>(363 ページ) 論理表現コミュニケーション演習</p> <p>期末課題(30%), 授業における作文課題(70%)の合計が、60%以上を可, 70%以上を良, 80%以上を優, 90%以上を秀と評</p>

新	旧
<p>点以上を合格（90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可）とする。</p>	<p>価する。</p>
<p>（396 ページ） 地域人間発達支援学特別演習</p> <p>授業中の質疑討論の内容等（20%），予習・復習状況（20%），構想・制作・演奏発表（20%），修論作成のための中間発表（40%）で評価し，60点以上を合格（90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可）とする。</p>	<p>（365 ページ） 地域人間発達支援学特別演習</p> <p>授業への参加状況（20%），予習・復習状況（20%），構想・制作・演奏発表（20%），修論作成のための中間発表（40%）の合計が，60%以上を可，70%以上を良，80%以上を優，90%以上を秀と評価する。</p>
<p>（398 ページ） 地域人間発達支援学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による各個人の在籍期間中の評価（授業中の質疑討論の内容，学会発表等の成果等）（主指導：40%，副指導：30%）とともに，報告会における成果（30%）を加味し，これらの合計の60点以上を合格（90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可）とする。</p>	<p>（369 ページ） 地域人間発達支援学特別研究</p> <p>主指導教員，副指導教員による各個人の在籍期間中の評価（70%）とともに，報告会における成果（30%）を加味し，60%以上を可，70%以上を良，80%以上を優，90%以上を秀と評価する。</p>
<p>（400 ページ） 地域人間発達支援学実践プロジェクト</p> <p>成果発表（60%）及び各回授業の課題に対する質疑討論の内容等（40%）で評価し，60点以上を合格（90点以上：秀，80-89点：優，70-79点：良，60-69点：可）とする。</p>	<p>（371 ページ） 地域人間発達支援学実践プロジェクト</p> <p>成果発表（20%）及び各回授業の課題への取り組み（40%），プロジェクトへの参加態度（40%）の合計が，60%以上を可，70%以上を良，80%以上を優，90%以上を秀と評価する。</p>

(新旧対照表) シラバス (授業計画), 工農総合科学専攻 (M)

新	旧
<p>(1 ページ) 地域創生のための社会デザイン&イノベーション / Social Design and Innovation for Regional Creation</p> <p>個人レポート (講義を通して得た成果, グループで担った役割と成果, 自分の活動記録) の内容を 60 点満点, <u>授業中の質疑討論の内容等を</u> 40 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(1 ページ) 地域創生のための社会デザイン&イノベーション / Social Design and Innovation for Regional Creation</p> <p>個人レポート (講義を通して得た成果, グループで担った役割と成果, 自分の活動記録) の内容を 60 点満点, <u>授業への参加の積極性 (教員, TA が評価) を</u> 40 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(3 ページ) 現代社会を見通す: 生命と感性の科学 / Contemporary Society: Life and Emotion</p> <p>事前調査個人シートを 30 点満点, グループレポートを 30 点満点, <u>グループワークでの討議内容等を</u> 20 点満点, プレゼンテーションの内容を 20 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(3 ページ) 現代社会を見通す: 生命と感性の科学 / Contemporary Society: Life and Emotion</p> <p>事前調査個人シートを 30 点満点, グループレポートを 30 点満点, <u>グループワークへの参加の積極性 (教員, TA が評価) を</u> 20 点満点, プレゼンテーションの内容を 20 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(7 ページ) アカデミックコミュニケーション / Academic Communication</p> <p><u>オープンゼミでの発表を 50 点満点, レポート (学びの振り返り, 専門分野を取り巻く境界領域・学際領域について) を 50 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</u></p>	<p>(74、93、116、137、159、200、235、255 ページ) アカデミックコミュニケーション / Academic Communication</p> <p><u>それぞれのイベントへの参加点 (概ね 45 分 2 点) の合計が 40 点以上を対象にして, 次のとおり成績を評価します。成績は, オープンゼミでの発表を 40 点満点, オープンゼミでの積極性 (発言回数, 質問回数, など) を 30 点満点, レポート (専門分野を取り巻く境界領域・学際領域について) を 30 点満点で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。なお, オープンゼミへの参加と発表は必須のアクティビティです。</u></p>
<p>(10 ページ) 農業・農村の組織マネジメント</p> <p><u>農業・農村の組織マネジメントに関するレポート 100%。</u> (略)</p>	<p>(8 ページ) 農業・農村の組織マネジメント</p> <p>レポート 100%。 (略)</p>
<p>(11 ページ) 観光地理学研究</p> <p><u>観光地理学に関する発表内容 50%, 観光地理学に関するレポート 50%。</u> (略)</p>	<p>(9 ページ) 観光地理学研究</p> <p>発表内容 50%, レポート 50%。 (略)</p>
<p>(12 ページ) ソーシャルビジネス論</p>	<p>(10 ページ) ソーシャルビジネス論</p> <p>授業の中でのプレゼンテーションとレポートによる評価と</p>

新	旧
授業の中でのプレゼンテーション(50%)とレポート(50%)による評価とする。 (略)	する。 (略)
(13 ページ) 防災と国際協力 I <u>防災と国際協力に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、 (略)	(11 ページ) 防災と国際協力 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(14 ページ) 環境問題とガバナンス I <u>環境問題とガバナンスに関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、(略)	(12 ページ) 環境問題とガバナンス I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(15 ページ) 人間の安全保障と国連 I <u>人間の安全保障と国連に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、(略)	(13 ページ) 人間の安全保障と国連 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(16 ページ) 国際人権保障と平和構築 I <u>国際人権保障と平和構築に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、 (略)	(14 ページ) 国際人権保障と平和構築 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(17 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 I <u>東アジア国際政治の歴史に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、 (略)	(16 ページ) 東アジアの国際政治と歴史 I <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(19 ページ) Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」 <u>ラテンアメリカの経済と社会に関する最終レポート(50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等(20%)</u> を考慮し、 (略)	(17 ページ) Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」 <u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等</u> を考慮し、 (略)
(20 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 I	(18 ページ) 東アフリカの社会開発と文化 I

新	旧
<p>東アフリカの社会開発と文化に関する最終レポート (50%)とプレゼンテーション(30%)及び授業中の討議内容等 (20%)を考慮し、 (略)</p>	<p>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の議論への貢献度等を考慮し、 (略)</p>
<p>(21 ページ) 感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p>授業での発表(30%)と感情コミュニケーションと社会的共生に関するレポート(70%)で評価し、 (略)</p>	<p>(19 ページ) 感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p>授業での発表とレポートで評価し、 (略)</p>
<p>(22 ページ) グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>発表と授業中の質疑討論の内容等 (50%)、学期末レポート (50%) とし、60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(20 ページ) グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>発表も含めた授業全体への取り組み (50%)、学期末レポート (50%) とし、60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(23 ページ) 日本語論述表現法 I Japanese Academic Writing I</p> <p>課題作文 (50%)、教室活動での討議内容・質疑応答等 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(21 ページ) 日本語論述表現法 I Japanese Academic Writing I</p> <p>課題作文 (50%)、教室活動への参加度 (予習、出席と質問への応答) (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(24 ページ) アメリカ文化研究 I</p> <p>授業中の討議内容等 (50%)とレポート (50%)で総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(22 ページ) アメリカ文化研究 I</p> <p>授業への取り組みとレポートで総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(25 ページ) フランス思想・文化研究 I /Studies on French Thought and Culture</p> <p>フランスの近代思想に関する最終レポート (70%)、授業中の発表内容 (30%) をもとに評価し、 (略)</p>	<p>(23 ページ) フランス思想・文化研究 I /Studies on French Thought and Culture</p> <p>レポートの採点結果、討論の発表内容をもとに評価し、 (略)</p>
<p>(26 ページ) 西洋史研究 I</p> <p>授業での専門論文読解と専門的知識の獲得状況 (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(25 ページ) 西洋史研究 I</p> <p>授業での取り組み (50%)、期末課題 (50%)。 60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(27 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 I</p>	<p>(26 ページ) 東アジア比較文学比較文化研究 I</p>

新	旧
東アジアの比較文学に関する最終レポート（70%）と発表内容（30%）で評価し、 （略）	発表内容と授業態度（議論）、レポートをもとに評価し、 （略）
（28 ページ） ジェンダーとアイデンティティ I 文献理解の度合い、授業での質疑討論の内容等（50%）ならびに文献解題、発表等（50%）を総合的に評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。	（27 ページ） ジェンダーとアイデンティティ I Readings, Class Discussion, and Participation: 50%/Annotated Bibliographies 50% 総合的に評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。
（29 ページ） 多文化教育研究 I 授業中の討議内容等（40%）、学期末プレゼンテーション（30%）および学期末レポートの結果（30%）を総合的に評価し、（略）	（29 ページ） 多文化教育研究 I 授業への取り組み（40%）、学期末プレゼンテーション（30%）および学期末レポートの結果（30%）を総合的に評価し、 （略）
（30 ページ） シティズンシップ教育 I 授業中の討議内容等 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。	（30 ページ） シティズンシップ教育 I 授業への取組 50%、レポート 50%により総合的に評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。
（31 ページ） 日本文化研究 I 最終レポート（50%）、授業中の討議内容等（50%）で評価して、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。	（31 ページ） 日本文化研究 I 受講態度（50%）とレポートなどの提出物（50%）によって総合的に評価し、60 点以上を合格（90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可）とする。
（32 ページ） 文化人類学研究 I 授業での発表（60%）と期末レポート（40%）により評価し、 （略）	（32 ページ） 文化人類学研究 I 授業での発表（60%）と期末レポート（50%）により総合的に評価し、 （略）
（33 ページ） 英語学研究 I 発表内容と授業中の質疑討論の内容等（50%）、統語論ないし意味論に関する最終レポート（50%）を総合的に評価し、 （略）	（33 ページ） 英語学研究 I 出席状況を含む授業態度（50%）、課題への取り組み（50%）を総合的に評価し、 （略）
（35 ページ） 西洋近現代哲学研究 I	（35 ページ） 西洋近現代哲学研究 I

新	旧
<p>テキスト講読に関する課題 40%、レポート (授業テーマごとに 4 課題) 60%により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>授業への取り組み 40%、レポート 60%により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(38 ページ) 日本語史と日本語研究 I</p> <p>発表 (30%)、授業中の討議内容等 (20%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>	<p>(38 ページ) 日本語史と日本語研究 I</p> <p>発表も含めた授業全体への取り組み (50%)、学期末レポート (50%) により総合的に評価し、 (略)</p>
<p>(39 ページ) 技術日本語/Technical Japanese</p> <p>口頭発表 (30%)、課題 (30%)、<u>授業中の討議内容等 (40%)</u> を総合的に評価します。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(39 ページ) 技術日本語/Technical Japanese</p> <p>口頭発表 (30%)、課題 (30%)、<u>授業態度 (40%)</u> を総合的に評価します。 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(40 ページ) 実践インターンシップ/Practical Internship</p> <p>原則として、時間数で 60 時間 (<u>実験・実習の学修時間である 4 時間×15 週相当</u>) 以上を条件にする。2 箇所以上で実習を行った場合、その合計時間に基づく。 (略)</p>	<p>(40 ページ) 実践インターンシップ/Practical Internship</p> <p>原則として、時間数で 60 時間以上を条件にする。2 箇所以上で実習を行った場合、その合計時間に基づく。 (略)</p>
<p>(42 ページ) 実践フィールドワーク/Practical Fieldwork</p> <p>フィールドワークを中心とした授業であるため、屋外実験・教育実践やそれらに関わる調査の実施計画 (<u>30%</u>)、<u>実践フィールドワークに関する最終成果のレポート内容 (40%)</u>、<u>実践フィールドワークに関する最終報告会での発表内容 (30%)</u> を総合して評価する。</p>	<p>(42 ページ) 実践フィールドワーク/Practical Fieldwork</p> <p>フィールドワークを中心とした授業であるため、屋外実験・教育実践やそれらに関わる調査の実施計画や最終成果のレポート内容、<u>最終報告会での発表内容</u>などを総合して評価する。</p>
<p>(44 ページ) 創成工学プロジェクト演習/Practice of Project-Based Learning</p> <p>成果発表 (50%)、報告書 (30%)、グループでの<u>討議内容等 (20%)</u> を総合して採点し判断する。出席回数が 2/3 に満たない者、成果発表を実施しなかった者は評価対象としない。 (略)</p>	<p>(43 ページ) 創成工学プロジェクト演習/Practice of Project-Based Learning</p> <p>成果発表、報告書、グループでの<u>活動状況</u>を総合して採点し判断する。出席回数が 2/3 に満たない者、成果発表を実施しなかった者は評価対象としない。 (略)</p>
<p>(48 ページ) Global Management</p>	<p>(46 ページ) Global Management</p>

新	旧
<p>Final grades will be calculated according to the following criteria: final report on Global Management (50%), presentation (30%) and contribution to the class-wide discussion (20%) . Those who are above 60 % will pass this course (Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%).</p>	<p>Class attendance minimum requirement: 2/3. Active participation 30%, Presentation 40%, Final Report 30%. Evaluation: Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%.</p>
<p>(50 ページ) Globalization and Society</p> <p>Final grades will be calculated according to the following criteria: final report on Globalization and Society (50%), presentation (30%) and contribution to the class-wide discussion (20%) . Those who are above 60 % will pass this course (Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%).</p>	<p>(48 ページ) Globalization and Society</p> <p>Class attendance minimum requirement: 2/3. Debate Presentation and Response 40% & Final Report (English) 60%. Evaluation: Excellent: 90% or more, Good: 80% or more, Satisfactory: 70% or more, Fair: 60% or more and Fail: less than 60%.</p>
<p>(53 ページ) 臨地研究/On-site Studies</p> <p>調査報告書(50%)と報告会でのプレゼンテーション(30%)、及び授業での諸活動と調査の実践状況(20%)も加味し、60点以上を合格(90点以上:秀、80-89点:優、70-79点:良、60-69点:可)とする。</p>	<p>(51 ページ) 臨地研究/On-site Studies</p> <p>調査報告書および報告会でのプレゼンテーションにより評価する。授業への参加態度と調査の実践状況も加味する。90点以上を秀、80点以上90点未満を優、70点以上80点未満を良、60点以上70点未満を可、60点未満を不可とする。</p>
<p>(54 ページ) 基礎光学</p> <p>宿題(60%)とテスト(40%)の結果を総合して評価する。(略)</p>	<p>(52 ページ) 基礎光学</p> <p>小テスト、講義への取り組み、宿題、レポートの結果を総合して評価する。(略)</p>
<p>(56 ページ) 遺伝子情報解析技術論/Techniques for Analyzing Genetic Information</p> <p>毎回の授業時のレポートを評価し、平均 60 点以上を合格(90点以上:秀、80-89点:優、70-79点:良、60-69点:可)とする。</p>	<p>(54 ページ) 遺伝子情報解析技術論/Techniques for Analyzing Genetic Information</p> <p>毎回の出席のレポートを評価し、60点以上を合格(90点以上:秀、80-89点:優、70-79点:良、60-69点:可)とする。</p>
<p>(57 ページ) 細胞解析技術論/Techniques for Analyzing Cells</p> <p>最終レポート(20%)及び授業中の討議内容・質疑応答</p>	<p>(55 ページ) 細胞解析技術論/Techniques for Analyzing Cells</p> <p>最終レポート及び授業中の積極性(発言回数、質問回数、な</p>

新	旧
<p>等 (80%) を評価し、 (略)</p> <p>(58 ページ) 質量分析装置解析技術論 / Techniques for Analyzing Proteins</p> <p>授業中の<u>討議内容・質疑応答等 (60%)</u> 及び演習 (40%) を評価し、 (略)</p>	<p>ど) を評価し、 (略)</p> <p>(56 ページ) 質量分析装置解析技術論 / Techniques for Analyzing Proteins</p> <p>授業中の<u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> 及び演習を評価し、 (略)</p>
<p>(59 ページ) バイオデザイン・プロセス学 / Biodesign and Bioprocessing</p> <p>レポート (70%) と演習課題 (30%) を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>	<p>(97、120 ページ) バイオデザイン・プロセス学 / Biodesign and Bioprocessing</p> <p>レポートと演習課題を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上: 秀, 80-89 点: 優, 70-79 点: 良, 60-69 点: 可) とする。</p>
<p>(60 ページ) 環境分析化学</p> <p><u>環境を分析するための方法論に関するレポート (60%) とそれについてのプレゼンテーション (30%)</u> 及び授業中の<u>討議内容等 (10%)</u> を評価し、 (略)</p>	<p>(99、122 ページ) 環境分析化学</p> <p><u>出席状況及び提出課題により評価し、</u> (略)</p>
<p>(64 ページ) 分子生理化学</p> <p><u>講義内容に関するレポート (70%)</u> と<u>プレゼンテーション及び授業中の討論内容等 (30%)</u> を評価し、 (略)</p>	<p>(103、126 ページ) 分子生理化学</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し、 (略)</p>
<p>(65 ページ) 界面化学 / Interfacial Chemistry</p> <p>演習問題 (50%) および課題レポート (50%) により評価し、 (略)</p>	<p>(104、127 ページ) 界面化学 / Interfacial Chemistry</p> <p>演習問題および課題レポートにより評価し、 (略)</p>
<p>(66 ページ) 食品機能科学</p> <p><u>講義内容に関するレポート (70%)</u> と<u>プレゼンテーション及び授業中の討論内容等 (30%)</u> を評価し、 (略)</p>	<p>(105、128 ページ) 食品機能科学</p> <p><u>最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し、 (略)</p>
<p>(67 ページ) 材料組織評価学</p> <p><u>材料評価法に関する最終レポート (80%)</u> と<u>授業中の課題 (20%)</u> により評価する。</p>	<p>(142 ページ) 材料組織評価学</p> <p><u>レポート・試験とプレゼンテーション</u>により評価する。 (略)</p>

新	旧
(略)	
(69 ページ) マイクロ・ナノ工学 講義毎の小テスト <u>(40%)</u> と期末のレポート <u>(60%)</u> で成績評価を行う。 (略)	(148 ページ) マイクロ・ナノ工学 講義毎の小テストと期末のレポートで成績評価を行う。 (略)
(70 ページ) メカトロニクス制御 小レポート <u>(30%)</u> と最終レポート <u>(70%)</u> の合計点によって成績評価を行う。 (略)	(153 ページ) メカトロニクス制御 小レポートと最後のレポートの合計点によって成績評価を行う。 (略)
(74 ページ) エンジニアコーチング 上記の授業への取り組み状況 <u>(技術者育成事例に関する講演の聴講レポート 50%、教材作成に関するレポート 50%)</u> の結果を総合して 100 点満点で評価し、 (略)	(170 ページ) エンジニアコーチング 上記の授業への取り組み状況の結果を総合して 100 点満点で評価し、 (略)
(75 ページ) 情報電気電子システム工学特別講義 報告書の内容 <u>(50%)</u> ・グループ討論におけるアイデア創出件数、他者のアイデアに対する意見提出および他者からの意見への質疑応答内容等 <u>(50%)</u> を合計して 100 点満点で評価し、 (略)	(171 ページ) 情報電気電子システム工学特別講義 報告書の内容・グループ討論の様子などを総合して 100 点満点で評価し、 (略)
(76 ページ) スマート農林業 2/3 以上の出席を評価要件とする。各回で課されるレポート <u>(80%)</u> と授業中の <u>討議内容・小テスト等 (20%)</u> を評価し、 (略)	(204、238 ページ) スマート農林業 2/3 以上の出席を評価要件とする。各回で課されるレポートと授業中の <u>積極性 (発言回数、質問回数など)</u> を評価し、 (略)
(77 ページ) 政策課題演習 演習およびグループ討論を行うため、全ての授業の出席を基本とする。最終レポート <u>(70%)</u> とプレゼンテーション及び討議内容等 <u>(30%)</u> を評価し、 (略)	(205、239 ページ) 政策課題演習 演習およびグループ討論を行うため、全ての授業の出席を基本とする。 <u>総合的に 100 点満点</u> で評価し、 (略)
(79 ページ) 波動光学	(58 ページ) 波動光学

新	旧
<p>期末試験で評価する。 (略)</p>	<p><u>小レポートと</u>期末試験で評価する。 (略)</p>
<p>(80 ページ) 光計測</p> <p><u>光計測に関するレポート</u>により評価する。60 点以上を合格(90 点以上:秀、80-89 点:優、70-79 点:良、60-69 点:可) とする。</p>	<p>(59 ページ) 光計測</p> <p><u>出席レポート</u>により総合的に評価する。60 点以上を合格(90 点以上:秀、80-89 点:優、70-79 点:良、60-69 点:可) とする。</p>
<p>(81 ページ) 光導波路デバイス</p> <p>授業の演習(30%)、期末のレポート(70%)で評価する。 (略)</p>	<p>(60 ページ) 光導波路デバイス</p> <p>授業の演習、期末のレポートを総合的に評価する。 (略)</p>
<p>(82 ページ) 情報光学</p> <p><u>情報光学に関するレポート(50%)と期末レポート(50%)</u>で評価する。 (略)</p>	<p>(61 ページ) 情報光学</p> <p><u>レポートと小テスト、</u>期末レポートで評価する。 (略)</p>
<p>(83 ページ) レーザープラズマ工学</p> <p><u>共鳴吸収とその周辺に関するレポート</u>の採点で評価する。 (略)</p>	<p>(62 ページ) レーザープラズマ工学</p> <p>レポートの採点で評価する。 (略)</p>
<p>(84 ページ) 光学設計 / Optical Design</p> <p>期末のレンズ設計のレポート(70%)に、数回の演習問題の結果(30%)で評価する。 (略)</p>	<p>(63 ページ) 光学設計 / Optical Design</p> <p>期末のレンズ設計のレポート(70%)に、数回の演習問題の結果(30%)や、出席回数・授業態度等も考慮して判断する。 <u>但し、講義出席 10 回相当分以上が評価の対象</u> (略)</p>
<p>(85 ページ) 数理光物理学</p> <p><u>光伝播解析または光と物質の相互作用を題材としたレポート</u>の採点結果によって評価する。 (略)</p>	<p>(64 ページ) 数理光物理学</p> <p>レポートの採点結果によって評価する。 (略)</p>
<p>(86 ページ) 感性情報処理</p> <p><u>上記配布資料の分担箇所についての発表(50%)、主観評価実験の演習についての発表(30%)および主観評価実験の演習についてのレポート(20%)</u>を総合して評価します。 (略)</p>	<p>(65 ページ) 感性情報処理</p> <p>発表およびレポートを総合して評価します。 (略)</p>

新	旧
(略)	
(87 ページ) 先端フォトニクス 小テスト <u>(50%)</u> 、レポート <u>(50%)</u> の結果を総合して評価する。 (略)	(66 ページ) 先端フォトニクス 小テスト、 <u>宿題</u> 、レポートの結果を総合して評価する。 (略)
(90 ページ) 可視化情報工学 <u>各自の分担したテーマの発表内容で評価する。</u> (略)	(69 ページ) 可視化情報工学 <u>授業の出席状況と、各自の分担したテーマの発表内容で評価する。</u> (略)
(94 ページ) 光工学特別演習 各自の最終的なプレゼンテーション <u>(40%)</u> とディスカッション <u>(40%)</u> および演習 <u>(20%)</u> によって総合的に評価する。 (略)	(73 ページ) 光工学特別演習 各自の最終的なプレゼンテーションとディスカッションおよび演習を通じての活動を総合的に評価する。 (略)
(96 ページ) 光工学特別研究 <u>在籍期間中の研究計画立案 (20%)、研究の実施、調査、実験結果の解析を行い、それに対する検討・討論 (60%)、報告会における評価 (20%) によって評価する。60 点以上を合格 (90 点以上:秀、80-89 点:優、70-79 点:良、60-69 点:可) とする。</u>	(76 ページ) 光工学特別研究 <u>主指導教員、副指導教員による各個人の在籍期間中の評価とともに、報告会における評価を加味し、総合的に行なう。60 点以上を合格 (90 点以上:秀、80-89 点:優、70-79 点:良、60-69 点:可) とする。</u>
(98 ページ) 植物分子保護学 / Molecular Aspects of Plant Protection 最終レポート <u>(40%)</u> とプレゼンテーション <u>(40%)</u> 及び授業中の <u>討議内容等 (20%)</u> を評価し、(略)	(83 ページ) 植物分子保護学 / Molecular Aspects of Plant Protection 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の <u>積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、 (略)
(99 ページ) 植物分子遺伝育種学 最終レポート <u>(60%)</u> 及び授業中の <u>討議内容等 (40%)</u> を評価し、 (略)	(84 ページ) 植物分子遺伝育種学 最終レポート及び授業中の <u>積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、 (略)
(100 ページ) 分子植物生理学 / Molecular Aspects of Plant Physiology	(86 ページ) 分子植物生理学 / Molecular Aspects of Plant Physiology

新	旧
最終レポート(60点)及び授業中の <u>討議内容等</u> (40点)を評価し, (略)	最終レポート及び授業中の <u>積極性</u> (発言回数, 質問回数, など)を評価し, (略)
(101 ページ) 分子進化生態学 / Molecular Evolutionary Ecology 毎回の <u>授業時</u> のレポートを評価し, <u>平均</u> 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(87 ページ) 分子進化生態学 / Molecular Evolutionary Ecology 毎回の <u>出席</u> のレポートを評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(102 ページ) 動物分子生理学 / Molecular Physiology in Animal Science リサーチプロポーザルレポート (<u>60%</u>) 及び授業中の <u>討議内容等</u> (<u>40%</u>) を評価し, (略)	(88 ページ) 動物分子生理学 / Molecular Physiology in Animal Science リサーチプロポーザルレポート及び授業中の <u>積極性</u> (発言回数, 質問回数, など) を評価し, (略)
(104 ページ) 動物生殖遺伝学 / Genetics & Reproduction in Animal Science <u>レポートを評価し</u> , 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(90 ページ) 動物生殖遺伝学 / Genetics & Reproduction in Animal Science <u>毎回の出席</u> のレポートを評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(105 ページ) 分子農学特別演習 プレゼンテーション (<u>60%</u>) 及び授業中の <u>討議内容等</u> (<u>40%</u>) を評価し, (略)	(92 ページ) 分子農学特別演習 プレゼンテーション及び授業中の <u>積極性</u> (発言回数, 質問回数, など) を評価し, (略)
(111 ページ) 分子構造化学 / Molecular Structure Chemistry <u>毎週課される各分析技術に関する演習課題</u> により評価し, (略)	(108 ページ) 分子構造化学 / Molecular Structure Chemistry <u>演習の提出課題</u> により評価し, (略)
(113 ページ) 分子機能化学 / Chemistry of functional molecules and materials <u>機能性材料に関する最終レポート</u> (50%), <u>演習課題の達成度</u> (50%) で評価して, 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。	(110 ページ) 分子機能化学 / Chemistry of functional molecules and materials <u>レポートおよび演習課題</u> を評価し, 60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀, 80-89 点 : 優, 70-79 点 : 良, 60-69 点 : 可) とする。
(115 ページ) 物質・環境工学 / Material and Environmental	(112 ページ) 物質・環境工学 / Material and Environmental Engineering

新	旧
Engineering 演習問題 (第 3, 5, 6, 9, 11, 13, 15 回に実施) に関するレポート点で評価し, (略)	演習問題に関するレポート点で評価し, (略)
(117 ページ) 物質環境化学特別演習 セミナーでの発表用資料として作成したレジメ (要旨) <u>(30%)</u> , 発表用電子ファイル <u>(40%)</u> , 及び授業での質疑討論の内容 <u>(30%)</u> を評価し, (略)	(114 ページ) 物質環境化学特別演習 セミナーでの発表用資料として作成したレジメ (要旨), 発表用電子ファイル, 及び授業での質疑討論の内容を評価し, (略)
(121 ページ) フロンティア農芸化学 講義内容に関するレポート <u>(70%)</u> とプレゼンテーション及び授業中の <u>討議内容等 (30%)</u> を評価し, (略)	(129 ページ) フロンティア農芸化学 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の <u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し, (略)
(122 ページ) 生理活性物質化学 毎回, <u>講義内容に関連するレポートを課し, それを評価する.</u> (略)	(130 ページ) 生理活性物質化学 毎回の <u>出席のレポート</u> を評価し, (略)
(123 ページ) 栄養生理化学 講義内容に関するレポート <u>(70%)</u> とプレゼンテーション及び授業中の <u>討議内容等 (30%)</u> を評価し, (略)	(131 ページ) 栄養生理化学 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の <u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し, (略)
(124 ページ) 植物機能化学 講義内容に関するレポート <u>(70%)</u> とプレゼンテーション及び授業中の <u>討議内容等 (30%)</u> を評価し, (略)	(132 ページ) 植物機能化学 最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の <u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し, (略)
(125 ページ) 科学技術と私たちの暮らし 最終レポート (<u>エネルギー資源, 食糧問題などの私たちの生活に関わる問題と, 大気汚染, 地球温暖化などの地球規模の環境問題に関する内容 (60%)</u>) と, <u>それについてのプレゼンテーション (30%)</u> 及び授業中の <u>討議内容等 (10%)</u> を評価し, (略)	(133 ページ) 科学技術と私たちの暮らし 最終レポートと <u>プレゼンテーション及び授業中の積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し, (略)
(127 ページ) 農芸化学特別演習	(135 ページ) 農芸化学特別演習

新	旧
<p>質疑応答用の資料として作成したレジメや発表用ファイル <u>(75%)</u>、及び授業での質疑討論の内容 <u>(25%)</u> を評価し、 (略)</p>	<p>質疑応答用の資料として作成したレジメや発表用ファイル、及び授業での質疑討論の内容を評価し、 (略)</p>
<p>(132 ページ) 材料・接合工学</p> <p>成績評価は、プレゼンテーションおよび授業態度の評価により行う。プレゼンテーションは発表の内容および技術の観点から 70 点満点で評価する。また、<u>授業中の討議内容等</u>に対し 30 点満点で評価する。合計 100 点満点であり、 (略)</p>	<p>(143 ページ) 材料・接合工学</p> <p>成績評価は、プレゼンテーションおよび授業態度の評価により行う。プレゼンテーションは発表の内容および技術の観点から 70 点満点で評価する。また、<u>授業態度は出席状況も含めて 30 点満点</u>で評価する。合計 100 点満点であり、 (略)</p>
<p>(133 ページ) 生産技術工学</p> <p>2/3 以上の出席をもって評価の対象とする。<u>授業中の討議内容等</u> (25%)、プレゼンテーション (45%)、レポート (30%) の結果を総合して評価する。 (略)</p>	<p>(144 ページ) 生産技術工学</p> <p>2/3 以上の出席をもって評価の対象とする。<u>受講態度</u> (25%)、プレゼンテーション (45%)、レポート (30%) の結果を総合して評価する。 (略)</p>
<p>(135 ページ) 成形プロセス工学</p> <p>授業中の小レポート <u>(50%)</u> とプレゼンテーション (もしくはレポート) <u>(50%)</u> で評価する。 (略)</p>	<p>(146 ページ) 成形プロセス工学</p> <p>授業中の小レポートとプレゼンテーション (もしくはレポート) で評価する。 (略)</p>
<p>(136 ページ) 力学系理論</p> <p>講義に対する姿勢、講義中に課す演習問題と<u>非線形力学系に関する最後のレポートの結果を総合して評価する</u>。なお、2/3 以上の出席をしないと成績評価の対象としない。<u>各評価点は、講義での討議内容等 (10 点)、演習問題 (30 点)、最終レポート (60 点) である。</u> (略)</p>	<p>(149 ページ) 力学系理論</p> <p>講義に対する姿勢、講義中に課す演習問題と最後のレポートの結果を総合して評価する。なお、2/3 以上の出席をしないと成績評価の対象としない。 (略)</p>
<p>(138 ページ) ロボット技術</p> <p>①期末試験 (70%)、②中間試験 (20%)、③<u>授業中の討議内容等</u> (10%) により評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>	<p>(151 ページ) ロボット技術</p> <p>①期末試験 (70%)、②中間試験 (20%)、③<u>学習態度</u> (10%) により評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀，80-89 点：優，70-79 点：良，60-69 点：可) とする。</p>
<p>(139 ページ) 知能ロボット</p>	<p>(152 ページ) 知能ロボット</p>

新	旧
<p>授業中の発言内容等：1点×15回 15点 レポート課題 20点 論文輪講での発表 40点 論文輪講での質問 25点 合計 100点 3分の2以上出席しないと評価の対象としない。 (略)</p>	<p>授業態度：1点×15回 15点 レポート課題 20点 論文輪講での発表 40点 論文輪講での質問 25点 合計 100点 3分の2以上出席しないと評価の対象としない。 (略)</p>
<p>(142 ページ) 非線形現象の幾何学 I</p> <p>試験または課題レポートの点数 (70%) や授業中の討論発表・質疑応答等 (30%) で評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(155 ページ) 非線形現象の幾何学 I</p> <p>試験または課題レポートの点数 (70%) や授業中の討論発表・取組み状況等 (30%) で評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(143 ページ) 非線形現象の幾何学 II</p> <p>試験または課題レポートの点数 (70%) や授業中の討論発表・質疑応答等 (30%) で評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(156 ページ) 非線形現象の幾何学 II</p> <p>試験または課題レポートの点数 (70%) や授業中の討論発表・取組み状況等 (30%) で評価する。60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(144 ページ) 機械知能工学特別演習</p> <p>主指導教員, 副指導教員により, 従来研究調査 (10%), 理論と実践 (30%), 実験と解析 (30%), 結果の取り纏め (30%) に対して 100 点満点で評価する。 (略)</p>	<p>(157 ページ) 機械知能工学特別演習</p> <p>主指導教員, 副指導教員による各個人の在籍期間中の評価とともに, 理論と実践, 実験と解析, 結果の取り纏めに対する評価を加味し, 総合的に行なう。 (略)</p>
<p>(146 ページ) 機械知能工学特別研究</p> <p>主指導教員, 副指導教員による各個人の在籍期間中の評価 (先行研究レポート 10%, 解析結果・実験結果レポート 40%), 報告会における発表及び質疑応答に対する評価 (50%) を総合して 100 点満点で評価する。 (略)</p>	<p>(161 ページ) 機械知能工学特別研究</p> <p>主指導教員, 副指導教員による各個人の在籍期間中の評価とともに, 報告会における評価を加味し, 総合的に行なう。 (略)</p>
<p>(153 ページ) ソフトウェア概論</p> <p>授業中の議論 (60%) と課題演習 (レポート形式) (40%) の結果を総合して 100 点満点で評価し, (略)</p>	<p>(173 ページ) ソフトウェア概論</p> <p>授業中の議論と課題演習 (レポート形式) の結果を総合して 100 点満点で評価し, (略)</p>

新	旧
<p>(154 ページ)</p> <p>データ工学</p> <p>輪講での発表内容 <u>(50%)</u>、およびレポート(4 回程度) <u>(50%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(174 ページ)</p> <p>データ工学</p> <p>輪講での発表内容、およびレポート(4 回程度)を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(156 ページ)</p> <p>音響情報工学</p> <p>2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポート <u>(50%)</u> および発表 <u>(50%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(176 ページ)</p> <p>音響情報工学</p> <p>2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポートおよび発表を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(157 ページ)</p> <p>情報量統計学</p> <p>2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とします。レポート <u>(30%)</u> および発表 <u>(70%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(177 ページ)</p> <p>情報量統計学</p> <p>2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とします。レポートおよび発表を総合して 100 点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(161 ページ)</p> <p>マイクロ波・ミリ波回路工学</p> <p>出席 2/3 以上を満たし、課題レポート(50%)と学生の発表(30%)、<u>授業中の討議内容等(20%)</u>を総合して 100 点満点で評価しする。 (略)</p>	<p>(181 ページ)</p> <p>マイクロ波・ミリ波回路工学</p> <p>出席 2/3 以上を満たし、課題レポート(50%)と学生の発表(30%)、<u>授業への取り組み姿勢(20%)</u>を総合して 100 点満点で評価しする。 (略)</p>
<p>(162 ページ)</p> <p>エネルギー科学</p> <p>授業回数の 2/3 以上の出席が求められる。成績評価はレポートの内容 <u>(50%)</u> およびレポートの<u>プレゼンテーション</u> <u>(30%)</u> と質疑応答内容 <u>(20%)</u> により評価を行う。 (略)</p>	<p>(182 ページ)</p> <p>エネルギー科学</p> <p>授業回数の 2/3 以上の出席が求められる。成績評価はレポートの内容およびレポートの<u>プレゼンテーション</u>と質疑応答の様子により評価を行う。 (略)</p>
<p>(169 ページ)</p> <p>応用情報システム特論</p> <p>期末にレポート課題を出す。成績評価は、レポート(60%)および<u>授業中の討議内容等</u>(40%)を総合して 100 点満点で評価し、90 点以上を「秀」、80 点以上 90 点未満を「優」、70 点以上 80 点未満を「良」、60 点以上 70 点未満を「可」、60 点未満を「不可」とする。</p>	<p>(189 ページ)</p> <p>応用情報システム特論</p> <p>期末にレポート課題を出す。成績評価は、レポート(60%)および<u>受講態度</u>(40%)を総合して 100 点満点で評価し、90 点以上を「秀」、80 点以上 90 点未満を「優」、70 点以上 80 点未満を「良」、60 点以上 70 点未満を「可」、60 点未満を「不可」とする。</p>
<p>(170 ページ)</p> <p>情報ネットワーク特論</p>	<p>(190 ページ)</p> <p>情報ネットワーク特論</p>

新	旧
2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポート <u>(40%)</u> および発表 <u>(60%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)	2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポートおよび発表を総合して 100 点満点で評価し、 (略)
(174 ページ) システムバイオロジー <u>ライフサイエンスの基礎、活性・抑制システムのモデル化・細胞周期などに関する各レポート課題 (80%)</u> および授業での討議内容等 <u>(20%)</u> の結果を総合して 100 点満点で評価し、(略)	(194 ページ) システムバイオロジー <u>レポート課題など授業への取り組み状況の結果を総合して</u> 100 点満点で評価し、 (略)
(176 ページ) 感性情報処理システム 2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポート <u>(50%)</u> および発表 <u>(50%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)	(196 ページ) 感性情報処理システム 2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポートおよび発表を総合して 100 点満点で評価し、 (略)
(177 ページ) コンピュータグラフィックス特論 2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポート <u>(50%)</u> および発表 <u>(50%)</u> を総合して 100 点満点で評価し、 (略)	(197 ページ) コンピュータグラフィックス特論 2/3 以上の出席を成績評価対象の必要条件とする。レポートおよび発表を総合して 100 点満点で評価し、 (略)
(178 ページ) ネットワークコンピューティング特論 / Advanced Network Computing 3 分の 2 以上出席しないと評価の対象としない(単位を取得できない)。演習課題 <u>(20%)</u> 、レポート <u>(50%)</u> 、小クイズの結果 <u>(30%)</u> を総合的に評価し、 (略)	(198 ページ) ネットワークコンピューティング特論 / Advanced Network Computing 3 分の 2 以上出席しないと評価の対象としない(単位を取得できない)。演習課題、レポート、小クイズの結果を総合的に評価し、 (略)
(179 ページ) 情報電気電子システム工学特別演習 上記の授業内で行われる「 <u>研究計画の策定</u> 」「 <u>研究進捗状況</u> 」「 <u>問題点の解析とその対応</u> 」に関するプレゼンテーションの内容を <u>70%</u> 、 <u>他者の研究に対する質疑の状況を 30%のウェイトをかけた合計 100 点満点</u> で評価し、 (略)	(199 ページ) 情報電気電子システム工学特別演習 <u>上記の授業への取り組み状況の結果を総合して 100 点満点</u> で評価し、 (略)
(181 ページ) 情報電気電子システム工学特別研究 上記の授業中のグループゼミおよび個別ゼミでの、「 <u>研究進捗状況</u> 」「 <u>実験装置作成</u> 」「 <u>実験結果とその考察</u> 」「 <u>研</u>	(202 ページ) 情報電気電子システム工学特別研究 <u>上記の授業への取り組み状況の結果を総合して 100 点満点</u> で評価し、

新	旧
<p>究計画の更新」などに関する報告内容を100点満点で評価し、 (略)</p>	(略)
<p>(183 ページ) 地球環境史特論</p> <p>履修生が選択した生物事件に伴う地球環境の激変に関する最終レポート(70%)とプレゼンテーション及び討議内容等(30%)を評価して、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(206 ページ) 地球環境史特論</p> <p>「最終レポートとプレゼンテーション及び授業中の積極性(発言回数, 質問回数, など)を評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。」</p>
<p>(184 ページ) 作物生理生態学</p> <p>授業中の討議内容等(50%)と作物の光合成と物質生産に関する試験(50%)により総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(207 ページ) 作物生理生態学</p> <p>討議への参加(50%)と試験(50%)により総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(185 ページ) 植物栄養・肥料学</p> <p>レポート(50%), 演習の成果(討論とプレゼンテーション)(50%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(208 ページ) 植物栄養・肥料学</p> <p>レポート(40%) 演習の取り組み方とその成果(プレゼンテーション)(60%)で評価し、60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>
<p>(186 ページ) 地域土壌圏科学</p> <p>プレゼンテーションを20点, レポートを50点, ディスカッションの内容等を30点で評価し、その結果を総合的に100点満点で評価する。その結果, 60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>	<p>(209 ページ) 地域土壌圏科学</p> <p>プレゼンテーション, レポート, ディスカッションへの参画状況から総合的に100点満点で評価し, 60点以上を合格(90点以上:秀, 80-89点:優, 70-79点:良, 60-69点:可)とする。</p>
<p>(187 ページ) 園芸作物生理学</p> <p>プレゼンテーション(40%), レポート(40%), ディスカッションの内容等(20%)から総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(210 ページ) 園芸作物生理学</p> <p>プレゼンテーション, レポート, ディスカッションへの参画状況から総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>
<p>(189 ページ) 作物生産技術の現状と課題、展望</p> <p>レポート(70%), ディスカッションの内容(30%)などから総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>	<p>(212 ページ) 作物生産技術の現状と課題、展望</p> <p>レポート, ディスカッションに対する取り組み状況などから総合的に100点満点で評価し、 (略)</p>

新	旧
<p>(190 ページ) 園芸フィールド生理学</p> <p><u>総合討論での発表内容を 50 点満点、研究機関の見学に関するレポートを 50 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(213 ページ) 園芸フィールド生理学</p> <p><u>出席および最終日に提出するレポートを評価し、</u> (略)</p>
<p>(191 ページ) 作物品種改良学</p> <p><u>プレゼンテーション(50 点)およびディスカッションの内容等(50 点)から総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(214 ページ) 作物品種改良学</p> <p><u>プレゼンテーションおよびディスカッションへの参画状況から総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>
<p>(192 ページ) 防除分子生態学</p> <p><u>レポート(60%)および授業中の討議内容(40%)などから総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(215 ページ) 防除分子生態学</p> <p><u>プレゼンテーション、レポート、出席などから総合的に総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>
<p>(193 ページ) 生物とウイルスの関係学</p> <p><u>ウイルスと生物、昆虫ウイルスに関するレポートを 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>	<p>(216 ページ) 生物とウイルスの関係学</p> <p><u>レポートにより 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>
<p>(194 ページ) 動物行動管理学／Management of Animal Behavior</p> <p><u>3 回課すレポートについて 1 回あたり 20 点(合計 60 点)、プレゼンテーション 30 点、他のプレゼンテーションへの発言等 10 点を概ねの目安として、総合的に 100 点満点で評価する。60 点以上を合格(90 点以上：秀、80-89 点：優、70-79 点：良、60-69 点：可)とする。</u></p>	<p>(217 ページ) 動物行動管理学／Management of Animal Behavior</p> <p><u>プレゼンテーション、レポート、ディスカッションへの参画状況から総合的に 100 点満点で評価し、60 点以上を合格(90 点以上：秀、80-89 点：優、70-79 点：良、60-69 点：可)とする。</u></p>
<p>(196 ページ) ヒトと動物の関係学</p> <p><u>ディスカッションおよびプレゼンテーションの内容・質疑応答等(80%)、レポートの内容(20%)を総合的に 100 点満点で評価し、60 点以上を合格(90 点以上：秀、80-89 点：優、70-79 点：良、60-69 点：可)とする。</u></p>	<p>(219 ページ) ヒトと動物の関係学</p> <p><u>ディスカッションの内容・積極性、レポートの内容を総合的に 100 点満点で評価し、60 点以上を合格(90 点以上：秀、80-89 点：優、70-79 点：良、60-69 点：可)とする。</u></p>
<p>(197 ページ) 雑草管理学</p> <p><u>授業中の討議内容等(50%)と期末試験結果(50%)で総合的に評価し、</u> (略)</p>	<p>(220 ページ) 雑草管理学</p> <p><u>出席率(50%)と期末試験結果(50%)で総合的に 100 点満点で評価し、</u> (略)</p>

新	旧
<p>(199 ページ) 野生動物管理学</p> <p>2/3 以上の授業出席をもって評価対象とし、<u>授業で適宜課すレポートにより評価を行って</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(222 ページ) 野生動物管理学</p> <p>2/3 以上の授業出席をもって評価対象とし、<u>各回の取り組み状況とレポートなどから総合的に評価を行い</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(200 ページ) 生物生産環境情報工学</p> <p>期末試験 (60%) およびレポート (40%) を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(223 ページ) 生物生産環境情報工学</p> <p>期末試験およびレポートを評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(201 ページ) 生物環境調節学</p> <p><u>植物生産システムの環境制御方法に関わる理解度をレポートで評価する。</u> (略)</p>	<p>(224 ページ) 生物環境調節学</p> <p><u>最終回の期末試験で植物生産システムの環境制御方法に関わる理解度を評価します。</u> (略)</p>
<p>(203 ページ) 生物環境システム工学</p> <p><u>輪講での担当部分の説明 (ハンドアウトと説明の内容：80%) と質疑応答 (質疑への対応と質問内容：20%) から評価し</u>、 (略)</p>	<p>(226 ページ) 生物環境システム工学</p> <p><u>演習課題 (80%) と講義への取り組み状況 (20%) から評価し</u>、(略)</p>
<p>(204 ページ) 食品流通工学</p> <p><u>食品流通工学に関係するレポート (50%)、プレゼンテーション能力や質問への対応 (50%) を合わせて 100 点満点で評価し</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とします。</p>	<p>(227 ページ) 食品流通工学</p> <p><u>レポート、プレゼンテーション能力や質問への対応で総合的に 100 点満点で評価し</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とします。</p>
<p>(205 ページ) 生産流通システム工学</p> <p><u>レポート (30%)、プレゼンテーション (30%)、ディスカッション (40%) を総合した知識獲得レベルを 100 点満点で評価し</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(228 ページ) 生産流通システム工学</p> <p><u>レポート、プレゼンテーション、ディスカッションなどを総合し、知識獲得レベル、授業参加の積極性を評価し</u>、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(206 ページ) 植物生産環境学</p>	<p>(229 ページ) 植物生産環境学</p>

新	旧
<p>レポート (30 点)、ディスカッション (30 点)、プレゼンテーション (40 点) から総合的に 100 点満点で評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>プレゼンテーション、レポート、ディスカッションへの参画状況から総合的に 100 点満点で評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(210 ページ) 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ</p> <p>レポート (60%) および授業中の<u>討議内容・質疑応答等 (40%)</u> を評価し、 (略)</p>	<p>(333 ページ) 農業生産環境保全学特別講義Ⅲ</p> <p>レポートおよび授業中の<u>積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、 (略)</p>
<p>(215 ページ) 森林生産育林学</p> <p>最終レポート (70%) とプレゼンテーション及び<u>授業の理解度 (授業中の質疑応答、授業時のレポート、小テストなど) (30%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(240 ページ) 森林生産育林学</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び<u>授業中の積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。↓</p>
<p>(216 ページ) 森林管理政策学</p> <p>最終レポート (60%) 及び<u>授業中の討議内容等 (40%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(241 ページ) 森林管理政策学</p> <p>最終レポート及び<u>議論への参加状況</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(217 ページ) 森林工学</p> <p>講義への取り組み・議論への参加状況によって判断する。具体的には、最終レポート (60%) とプレゼンテーション (20%) 及び<u>討議内容等 (20%)</u> を評価し、(略)</p>	<p>(242 ページ) 森林工学</p> <p>講義への取り組み・議論への参加状況によって判断する。具体的には、最終レポートとプレゼンテーション及び<u>授業中の積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、 (略)</p>
<p>(218 ページ) 森林生産利用学</p> <p>森林生産利用学に関する最終レポート (70%)、<u>授業中の発表内容や質疑応答等 (30%)</u> で評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(243 ページ) 森林生産利用学</p> <p><u>出席状況やレポート等で総合的に判断して</u>、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(219 ページ) 森林生態育林学</p> <p>最終レポート (70%) とプレゼンテーション及び<u>討議内容等 (30%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(244 ページ) 森林生態育林学</p> <p>最終レポートとプレゼンテーション及び<u>授業中の積極性 (発言回数、質問回数、など)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>

新	旧
<p>(220 ページ) 治山砂防学</p> <p>取り組み姿勢およびレポートによって評価する。具体的には、<u>最終レポート課題 (70%) 及び授業中の討議内容等 (30%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(245 ページ) 治山砂防学</p> <p>取り組み姿勢およびレポートによって評価する。具体的には「<u>最終レポート課題及び授業中の積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u>」を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(221 ページ) 森林政策学</p> <p><u>最終レポート (60%) 及び授業中の討議内容等 (40%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(246 ページ) 森林政策学</p> <p>取り組み姿勢およびレポートによって評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(223 ページ) 森林作業学</p> <p>毎回の出席のレポート (80%) と授業中の<u>討議内容等 (20%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(248 ページ) 森林作業学</p> <p>毎回の出席のレポートと授業中の<u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(224 ページ) 森林植物学</p> <p>講義レポート (50%) および演習成果 (50%) を提出してもらい、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(249 ページ) 森林植物学</p> <p>講義レポートおよび演習成果を提出してもらい、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(225 ページ) 森林経済学</p> <p>レポート課題 (70%), 授業中の<u>討議内容等 (30%)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(250 ページ) 森林経済学</p> <p>毎回の出席のレポートと授業中の<u>積極性 (発言回数, 質問回数, など)</u> を評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(226 ページ) 樹木木質学</p> <p><u>樹木木質に関する最終レポート (70%), 授業中の討議内容等 (30%)</u> で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>	<p>(251 ページ) 樹木木質学</p> <p><u>出席状況やレポート等で 100 点満点</u>で評価し、60 点以上を合格 (90 点以上：秀, 80-89 点：優, 70-79 点：良, 60-69 点：可) とする。</p>
<p>(227 ページ) 森林資源管理学</p> <p><u>森林資源管理に関する最終レポート (70%)、授業中の</u></p>	<p>(252 ページ) 森林資源管理学</p> <p><u>出席状況やレポート等で総合的に判断して、60 点以上を合</u></p>

新	旧
<p>討議内容等 (30%) で評価して、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(228 ページ) 森林生産保全学特別講義</p> <p>演習 (50%) およびレポート (50%) を総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(253 ページ) 森林生産保全学特別講義</p> <p>演習およびレポートを総合的に評価し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(229 ページ) 森林生産保全学特別演習</p> <p>研究計画の立案と実施 (30%)、資料・データの調査・整理 (40%)、分析手法等の学修成果 (30%) を「研究計画発表会」にて審査し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(254 ページ) 森林生産保全学特別演習</p> <p>研究計画の立案と実施、資料・データの調査・整理、分析手法等の学修成果を「研究計画発表会」にて審査し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>
<p>(231 ページ) 森林生産保全学特別研究</p> <p>主指導教員、副指導教員による各個人の在籍期間中の評価 (研究計画、研究手法の修得、研究の実施、調査・実験結果の解析、レポート等) (80%) とともに、報告会における評価 (20%) を加味し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>	<p>(257 ページ) 森林生産保全学特別研究</p> <p>主指導教員、副指導教員による各個人の在籍期間中の評価とともに、報告会における評価を加味し、60 点以上を合格 (90 点以上 : 秀、80-89 点 : 優、70-79 点 : 良、60-69 点 : 可) とする。</p>

【教育課程等】

12. <シラバスの表記が不相当>

シラバスの表記について、大学設置基準第 25 条の 2 の趣旨も踏まえ、以下の点について適切に修正すること。【2 専攻共通】

(2) 記載内容について、各回の授業内容がまとめて記載されるなど、1 単位当たりの学修時間が確保されていることが不明瞭な科目があるため、各回の授業科目を明確にすること。

(対応)

各回の授業内容がまとめて記載される科目について、1 単位当たりの学修時間が確実に確保されていることを明示するために、全ての授業科目において、各回の授業内容を見直しの上、明確にした。

本意見を踏まえ、以上の内容を、「シラバス」の授業計画に記載する。

(新旧対照表) シラバス (授業計画), 社会デザイン科学専攻 (M)

新	旧
<p>(9 ページ)</p> <p>実践経営マネジメント概論 / Introduction to Practical Management</p> <p>原則として、隔週 (1 回 2 週分) で授業を行うが、講師の都合によっては変更もある。</p> <p>各回の内容については、都合により変更されることがある。</p> <p>第 1 回 経営学と情報学, 工学の基本的性格 (企業の現場 (コンビニエンスストアなど) で, 情報と工学的知識はどうか活用されているかなど)</p> <p><u>経営者の話をどう聴くか (企業の生き残り, 顧客の期待を裏切らない, 企業の独自能力, イノベーションとベンチマーキング, 技術とライフサイクル, ビジネスチャンスへの気付き, ビジネスモデル, ドメインの定義, マーケティング, 研究開発とエンジニアの役割, ブランド, 経営理念とミッション, コーポレートガバナンスなど)</u></p> <p><u>第 2 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (業界例: サービス)</u></p> <p><u>第 3 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (業界例: インフラ)</u></p> <p><u>第 4 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (業界例: 情報)</u></p> <p><u>第 5 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (業界例: 教育)</u></p> <p><u>第 6 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (業界例: 官公庁)</u></p> <p>第 7 回 全体のまとめ</p>	<p>(7 ページ)</p> <p>実践経営マネジメント概論 / Introduction to Practical Management</p> <p>原則として、隔週 (1 回 2 週分) で授業を行うが、講師の都合によっては変更もある。</p> <p>各回の内容については、都合により変更されることがある。</p> <p>第 1 回 経営学と情報学, 工学の基本的性格 (企業の現場 (コンビニエンスストアなど) で, 情報と工学的知識はどうか活用されているかなど)</p> <p><u>第 2 回 経営者の話をどう聴くか (企業の生き残り, 顧客の期待を裏切らない, 企業の独自能力, イノベーションとベンチマーキング, 技術とライフサイクル, ビジネスチャンスへの気付き, ビジネスモデル, ドメインの定義, マーケティング, 研究開発とエンジニアの役割, ブランド, 経営理念とミッション, コーポレートガバナンスなど)</u></p> <p><u>第 3 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (1) (県内産業界などからの学外講師が, それぞれの業界の立場から講義を行う)</u></p> <p><u>第 4 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (2)</u></p> <p><u>第 5 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (3)</u></p> <p><u>第 6 回 各種事業の経営者による企業現場のレポート (4)</u></p> <p>第 7 回 全体のまとめ</p>

新	旧
<p>(12 ページ)</p> <p>ソーシャルビジネス論</p> <p>第1回：ソーシャルビジネスの定義</p> <p>第2回：ソーシャルビジネス登場の背景</p> <p>第3回：ソーシャルビジネスの理論整理</p> <p>第4回：ソーシャルビジネスの事例分析 (欧米編)</p> <p>第5回：ソーシャルビジネスの事例分析 (日本編)</p> <p>第6回：農村地域におけるソーシャルビジネスの事例分析</p> <p>第7回：農村地域振興のためのソーシャルビジネスの役割</p> <p>第8回：まとめ</p>	<p>(10 ページ)</p> <p>ソーシャルビジネス論</p> <p>第1回：ソーシャルビジネスの定義</p> <p>第2回、第3回：ソーシャルビジネスの理論</p> <p>第4回、第5回：ソーシャルビジネスの事例分析</p> <p>第6回、第7回：農村におけるソーシャルビジネスの役割</p> <p>第8回：まとめ</p>
<p>(13 ページ)</p> <p>防災と国際協力 I</p> <p>(略)</p> <p>5. <u>事例①日本政府や国際機関による防災国際協力</u></p> <p>6. <u>事例②NGO や大学、企業による防災国際協力</u></p> <p>7-8. <u>プレゼンテーション</u></p>	<p>(11 ページ)</p> <p>防災と国際協力 I</p> <p>(略)</p> <p>5. <u>防災国際協力の事例①</u></p> <p>6. <u>防災国際協力の事例②</u></p> <p>7-8. <u>プレゼンテーション</u></p>
<p>(14 ページ)</p> <p>環境問題とガバナンス I</p> <p>1. <u>ガイダンス：講義内容の概要説明、授業の進め方</u></p> <p>2. <u>環境政治社会史 1 自然保護・保全と二度の大戦</u></p> <p>3. <u>環境政治社会史 2 環境革命と先進国・途上国の対応</u></p> <p>4. <u>環境政治社会史 3 地球環境問題の出現とグローバル化</u></p> <p>5. <u>持続可能な発展に向けてのガバナンス 1 政治</u></p> <p>6. <u>持続可能な発展に向けてのガバナンス 2 アクター</u></p> <p>7. <u>持続可能な発展に向けてのガバナンス 3 政策ツールの変化</u></p> <p>8. <u>持続可能な発展に向けてのガバナンス 4 認識枠組の変化</u></p>	<p>(12 ページ)</p> <p>環境問題とガバナンス I</p> <p>第1回 <u>オリエンテーション</u></p> <p>第2-7回 <u>テキストの輪読</u></p> <p>第8回 <u>総括</u></p>
<p>(18 ページ)</p> <p>東アジアの国際政治と歴史 I</p> <p>(略)</p> <p>第7回 <u>受講生の個別研究報告① (近代東アジア国際政治史に関連する報告)</u></p> <p>第8回 <u>受講生の個別研究報告② (現代国際アジア国際政治史に関連する報告)</u></p>	<p>(16 ページ)</p> <p>東アジアの国際政治と歴史 I</p> <p>(略)</p> <p>第7回 <u>受講生の個別研究報告①</u></p> <p>第8回 <u>受講生の個別研究報告②</u></p>
<p>(19 ページ)</p> <p>Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」</p>	<p>(17 ページ)</p> <p>Economy and Society in Latin America I 「ラテンアメリカの経済と社会 I」</p>

新	旧
<p>(略)</p> <p>6回 The Left and the Challenge to Market Orthodoxy in Latin America (Flores-Macias, 2012: 3-21)</p> <p><u>7回 Party Systems and Leftist Governments Economic Policies in</u> (Flores-Macias, 2012: 60-93)</p> <p>(略)</p>	<p>(略)</p> <p>6回 The Left and the Challenge to Market Orthodoxy in Latin America (Flores-Macias, 2012: 3-21) <u>(1)</u></p> <p><u>7回 The Left and the Challenge to Market Orthodoxy in Latin America</u> (Flores-Macias, 2012: 3-21) <u>(2)</u></p> <p>(略)</p>
<p>(20 ページ)</p> <p>東アフリカの社会開発と文化 I</p> <p>(中略)</p> <p><u>第 8 回 レポート発表</u></p>	<p>(18 ページ)</p> <p>東アフリカの社会開発と文化 I</p> <p>(中略)</p> <p><u>第 8 回 期末試験</u></p>
<p>(21 ページ)</p> <p>感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p>(略)</p> <p>第 5 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (1) : <u>共感の促進的機能</u></p> <p>第 6 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (2) : <u>共感の排斥的機能</u></p> <p>第 7 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (3) : <u>対応案</u></p> <p>第 8 回 まとめ</p>	<p>(19 ページ)</p> <p>感情コミュニケーションと社会的共生 I</p> <p>(略)</p> <p>第 5 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (1)</p> <p>第 6 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (2)</p> <p>第 7 回 感情コミュニケーションと社会的共生 (3)</p> <p>第 8 回 まとめ</p>
<p>(22 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>1 ガイダンス 本授業の目的と方法</p> <p>2 人の移動をめぐる基礎的な事実と論点</p> <p><u>3 非正規滞在者と日系人</u></p> <p><u>4 研修生・技能実習生</u></p> <p><u>5 外国人労働者問題と外国人児童生徒教育</u></p> <p><u>6 外国人生徒の高校進学問題 7 進路保障の現状と課題</u></p> <p><u>8 総括</u></p>	<p>(20 ページ)</p> <p>グローバル化と国際的な人の移動 I</p> <p>1 ガイダンス 本授業の目的と方法</p> <p>2 人の移動をめぐる基礎的な事実と論点</p> <p><u>3-4 「国際的な人の移動と日本」</u></p> <p><u>5-7 演習形式での発表と質疑</u></p> <p><u>8 レポート作成</u></p>
<p>(24 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究 I</p> <p><u>第 1 回 授業の内容紹介</u></p> <p><u>第 2 回 言語 (アメリカ英語の発展、各地域の方言、階級などの差異、英語公用語化問題など)</u></p> <p><u>第 3 回 地域 (北東部、南部、中西部、西部の歴史的発展)</u></p> <p><u>第 4 回 宗教 (キリスト教の伝播、市民宗教、少数派の宗教、公的徳と個人の自由)</u></p> <p><u>第 5 回 思想 (プラグマティズムの期限や発展)</u></p> <p><u>第 6 回 民族 (先住民、北西ヨーロッパ系など)</u></p> <p><u>第 7 回 民族 (アフリカ系、アジア系など)</u></p>	<p>(22 ページ)</p> <p>アメリカ文化研究 I</p> <p><u>1. 授業の内容紹介、</u></p> <p><u>2. 言語、</u></p> <p><u>3. 地域、</u></p> <p><u>4. 宗教、</u></p> <p><u>5. 思想、</u></p> <p><u>6. ～ 8. 民族 (変更する場合、初回の授業で告知する)。</u></p>

新	旧
第8回 民族（南東ヨーロッパ系など）	
<p>(32 ページ)</p> <p>文化人類学研究 I</p> <p>第1週 19世紀文化進化論：洗練から生活様式としての文化</p> <p>第2週 19世紀進化主義；理性の発展段階としての異文化</p> <p>第3週 構造機能論：社会構造の構造機能的合理性、</p> <p>第4週 新進化主義：生態系への適応としての合理性</p> <p>第5週 フランス構造主義：コミュニケーションとしての互酬性</p> <p>第6週 フランス構造主義：象徴分類の深層構造</p> <p>第7週 文化とパーソナリティ学；文化の統合形体とパーソナリティ</p> <p>第8週 象徴人類学：象徴と意味の統合形体</p>	<p>(32 ページ)</p> <p>文化人類学研究 I</p> <p>1-2. 19世紀進化主義</p> <p>3-4. 構造機能論・新進化主義</p> <p>5-6. フランス構造主義</p> <p>7-8. 文化とパーソナリティ学・象徴人類学</p>
<p>(39 ページ)</p> <p>日本語史と日本語研究 I</p> <p>1 <u>ガイダンス、言語の共時性と通時性</u></p> <p>2 <u>音韻と文法との関係</u></p> <p>3 <u>語彙的な意味のありかた</u></p> <p>4 <u>語彙的なものと文法的なもの</u></p> <p>5 <u>言語の形式</u></p> <p>6 <u>動詞の語形変化</u></p> <p>7 <u>名詞の語形変化</u></p> <p>8 <u>各回の疑問点および総括</u></p>	<p>(38 ページ)</p> <p>日本語史と日本語研究 I</p> <p>1 <u>ガイダンス</u></p> <p>2 <u>文献資料について（収集と扱いかた）</u></p> <p>3 <u>言語変化の諸現象について</u></p> <p>4-7 <u>文献資料調査（担当者による演習）</u></p> <p>8 <u>レポート執筆について</u></p>
<p>(40 ページ)</p> <p>技術日本語／Technical Japanese</p> <p>第1週：授業およびポスター発表についての説明</p> <p>第2週：日本語表現／日本語表記の使い分け</p> <p>第3週：日本語表現／伝える技術</p> <p>第4週：日本語表現／ポスター発表とは</p> <p>第5週：日本語表現／専門論文 要約</p> <p>第6週：日本語表現／専門用語 解説</p> <p>第7週：日本語表現／ポスター作成</p> <p>第8週：ポスター発表会</p>	<p>(39 ページ)</p> <p>技術日本語／Technical Japanese</p> <p>第1週：授業およびポスター発表についての説明</p> <p>第2～3週：日本語表現／伝える技術</p> <p>第4～7週：日本語表現／ポスター作成</p> <p>第8週：ポスター発表会</p>
<p>(45 ページ)</p> <p>情報電気電子システム工学概論</p> <p>第1回 <u>ガイダンス・情報電気電子分野のひろがり【古神】</u></p> <p>第2回 <u>通信分野技術の最新動向【古神】</u></p> <p>第3回 <u>電磁エネルギー分野技術の近年の発展【川田】</u></p> <p>第4回 <u>電磁エネルギー分野技術の最新動向と将来【川</u></p>	<p>(44 ページ)</p> <p>情報電気電子システム工学概論</p> <p>第1回・第2回 <u>ガイダンス・情報電気電子分野の注目技術1（通信分野）【古神】</u></p> <p>第3回・第4回 <u>情報電気電子分野の注目技術2（電磁エネルギー分野）【川田】</u></p> <p>第5回・第6回 <u>情報電気電子分野の注目技術3（計算機シ</u></p>

新	旧
<p>田】 <u>第 5 回 計算機システム分野技術の近年の発展【横田(隆)】</u> <u>第 6 回 計算機システム分野技術の最新動向と将来【横田(隆)】</u> <u>第 7 回 画像符号化分野技術の動向【長谷川(ま)】</u> <u>第 8 回 医用画像処理分野の動向【伊藤(聡)】</u></p>	<p>STEM分野)【横田(隆)】 <u>第 7 回 情報電気電子分野の注目技術 4 (画像符号化分野)【長谷川(ま)】</u> <u>第 8 回 情報電気電子分野の注目技術 5 (医用画像処理分野)【伊藤(聡)】</u></p>
<p>(47 ページ) 文系のためのデータサイエンス</p> <p>(略)</p> <p>4. データ集計 <u>単純集計とクロス集計</u> 5. データ集計 <u>カイ二乗検定によるクロス集計の診断</u> (略)</p>	<p>(46 ページ) 文系のためのデータサイエンス</p> <p>(略)</p> <p>4. データ集計 <u>(1)</u> 5. データ集計 <u>(2)</u> (略)</p>
<p>(50 ページ) 実践フィールドワーク／Practical Fieldwork</p> <p>およそフィールドワークには、その専門的な特質をもとに、現場に赴く→各種データを収集する→データを整理・統合するなど方法論から段階的に考察する必要がある。本授業では、準備から実施、結果の整理までの期間が1週間以上のものを対象とする。なお、以下のとおりフィールドワーク期間において課題を設けるが、グループの研究対象により内容を変更する場合がある。</p> <p><u>1. オリエンテーションー活動の方法と計画ー</u> <u>2. 研究対象の決定 (フィールドワーク先を担当教員の指導の下で選定)</u> <u>3. 研究内容の決定 (予備調査及び課題の整理と具体的な調査項目の決定)</u> <u>4. グループ討議 (必要な機材・資料等についても準備)</u> <u>5. フィールドワーク (調査項目による情報収集)</u> <u>6. フィールドワーク (情報収集による調査結果)</u> <u>7. フィールドワーク (研究計画の検証)</u> <u>8. フィールドワーク (調査地等での意見聴取)</u> <u>9. フィールドワーク (中間報告のレポート)</u> <u>10. フィールドワーク (実践活動報告会の計画)</u> <u>11. フィールドワーク (実践活動報告会の準備)</u> <u>12. フィールドワーク (調査地等でのプレ発表, または内容の確認)</u> <u>13. フィールドワーク (プレ発表と資料等の作成)</u> <u>14. 実践活動報告会 (各グループによる発表)</u> <u>15. 実践活動報告会 (各グループの発表について討議)</u> <u>16. リフレクション (各指導教員による講評とグループ活動の総括)</u></p>	<p>(49 ページ) 実践フィールドワーク／Practical Fieldwork</p> <p>およそフィールドワークには、その専門的な特質をもとに、現場に赴く→各種データを収集する→データを整理・統合するなど方法論から段階的に考察する必要がある。本授業では、準備から実施、結果の整理までの期間が1週間以上のものを対象とする。</p> <p><u>(第1回～3回) オリエンテーション, 活動の方法と計画: 具体的なフィールドワーク先を担当教員の指導の下で選定する。フィールドワーク先の予備調査及び課題の整理と具体的な調査項目の洗い出しを行う。フィールドワークに必要な機材・資料等についても準備を進め用意する。: 中島 望, 指導教員</u> <u>(第4回～13回) フィールドワーク先での実践活動: 調査結果を随時まとめると同時に、レポートとして全体の調査結果・その分析結果・考察として調査方法等の改善案をまとめる。: 中島 望, 指導教員</u> <u>(第14～15回) 実践報告会, レポート提出: 報告会ではレポートを元にプレゼンテーションを行い、討論をする。: 中島 望, 指導教員, 実務家 (調査地)</u> <u>(第16回) 講評: 中島 望, 指導教員</u></p>
<p>(52 ページ) 創成工学プロジェクト演習</p>	<p>(50 ページ) 創成工学プロジェクト演習</p>